IDWR 2026年第43週(10月19日～10月25日)

静岡県 *Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka*

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく感染症発生動向調査より

作成　静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

（2026年10月30日公開）

インフルエンザは注意報レベルです（第43週9.55）

2026年第40週（9/28～10/4）に、静岡県内のインフルエンザの定点当たり患者数が11.69人に増加し、注意報レベルの基準値（定点当たり患者数10人）を超えました。

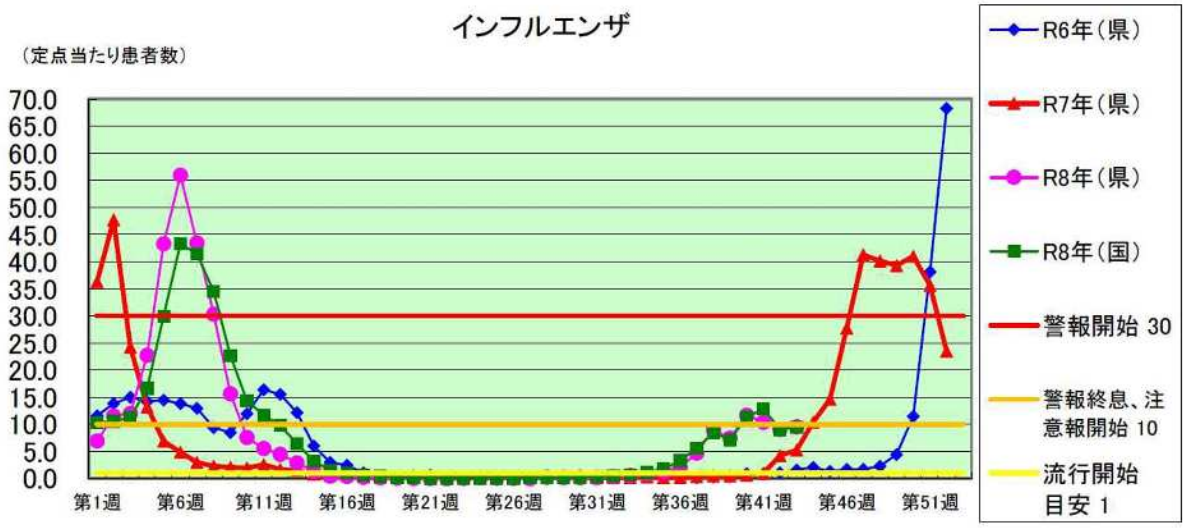
第40週での注意報入りは、記録が残る2002年以降、2023年と並び、最も早い注意報入りとなります。

第42週（10/12～18）に定点当たり患者数が9.09人となり、いったん10人以下となりましたが、増加傾向で、学級閉鎖で休んでいるこどもの数も前週の約3倍になっていることから、県ではまだ注意報レベルが継続していると考えています。今後、引き続き患者数が増加する可能性が考えられますが、来週以降に患者数が減少した場合は、いったん注意報を解除することを検討しています。また、例年は12月下旬から1月中旬頃に注意報入りし、2～4週間後に警報レベルとなることが多いため、その頃に再度患者数が増加することも予想されます。

今後、さらに流行が拡大することも考えられますので、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。また、医療機関でワクチン接種が開始されていますので、接種の検討をお願いします。

※インフルエンザの定点当たり患者数とは、県内の内科・小児科定点医療機関から報告された1週間の患者数を機関数で割った数値です（県内の内科・小児科定点医療機関数：2026年第13週までは139、2026年第14週からは112、2026年第18週からは108）。

※流行開始の目安とされている定点当たり患者数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。



RS ウイルス感染症が流行しています（第 43 週 2.05）

RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では、定点医療機関当たり1週間の報告数が 0.5 で「流行が始まる可能性あり」、1 以上で「流行期に入っている」と考えています。

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり 1 週間の報告数は、昨年 10 月下旬以来、約 10 か月ぶりに定点医療機関あたり 1 人を超え、増加が加速しています。なお、県内の患者の年齢は、約 80%が 2 歳以下です。

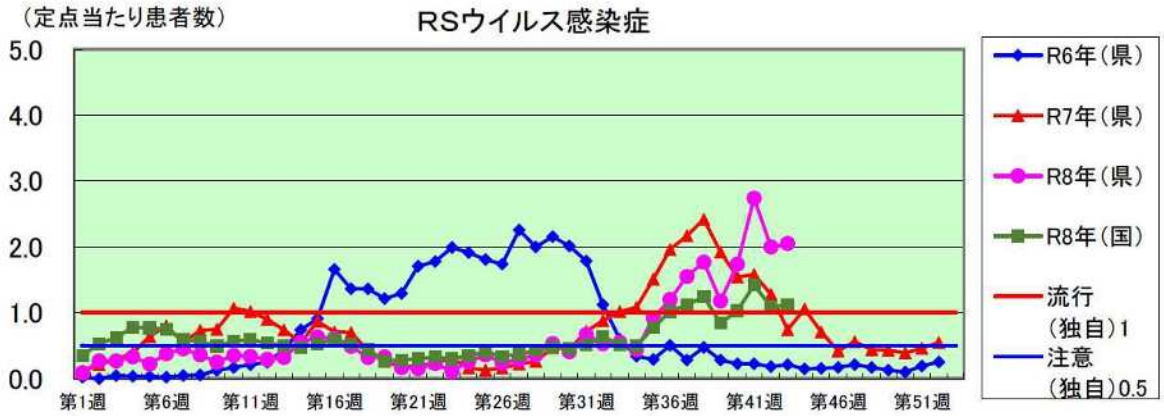
RSウイルス感染症は、飛沫感染（咳、くしゃみの飛び散り）や接触感染（鼻水や痰、だ液等を触る）でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約 5 日、人にうつす感染期間は発症後約 1 週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴（ぜーぜー、ひゅーひゅーの呼吸）です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳児早期（特に 2 か月以下の赤ちゃん）に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります（感染した乳幼児の約 30 人に 1 人は入院するという報告もあります）。

RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やぜーぜーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構（JIHS）の感染症情報提供サイトを御覧ください。

https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html



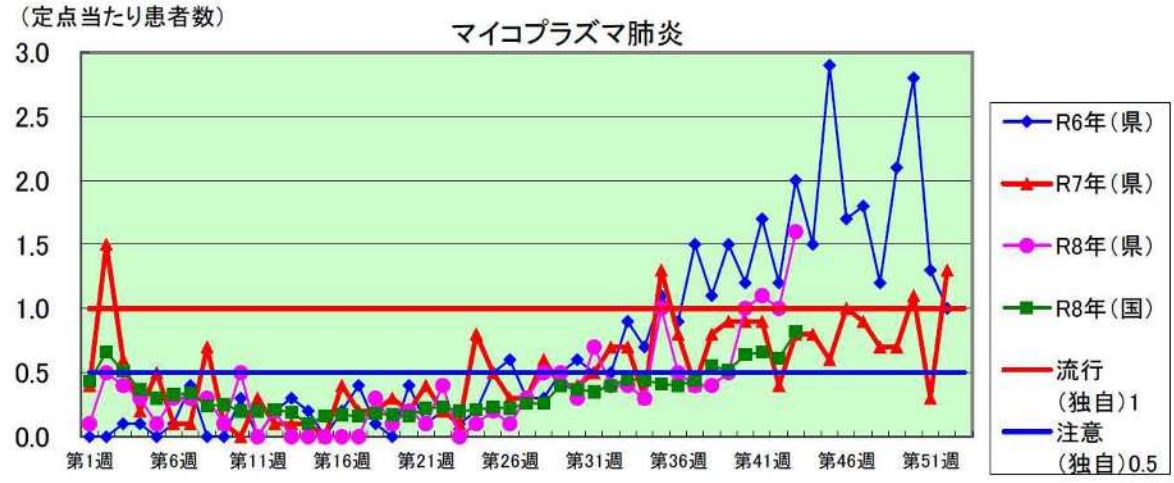
マイコプラズマ肺炎が再度流行しています（第43週1.60）

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによる細菌感染症です。感染経路は、主に飛沫感染と接触感染で、家族内や学校など濃厚接触が多い場所で、しばしば集団発生が起こります。潜伏期間は2～3週間程度で、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などで、解熱後も咳が長く続くことがあります。必ずしも肺炎にならず、上気道炎や気管支炎も多いです。全年齢層に感染が見られますが、若年齢層に多く、14歳以下が6～8割を占めます。過去の疫学調査研究では、3～7年程度に1回国内で大きな流行が起こっています。

マイコプラズマ肺炎は2024年6月に定点あたり患者数が0.5を超えて、長期間の流行期に入っていました。2026年第10週（3/2～8）の0.5以降、0.5を下回っていましたが、第28週（7/6～12）以降、定点当たり患者数※0.5以上が続いており、第40週（9/28～10/4）は1.0となりました。国は基準値を定めていませんが、県感染症情報センターでは、0.5以上が継続した場合、流行が始まる可能性あり、1以上では確実に流行していると考えています。（県内の定点当たり患者数が1以上となったのは、2025年第52週（12/22～28）以来です。）

県民の皆様には、引き続き、人混みでのマスク着用、咳エチケット、適切な換気と手洗いなど、飛沫・接触感染の対策に御協力をお願いします。

※マイコプラズマ肺炎の定点当たり患者数とは、県内 10 の基幹定点医療機関から報告された1週間の患者数を施設数 10 で割った数値です。



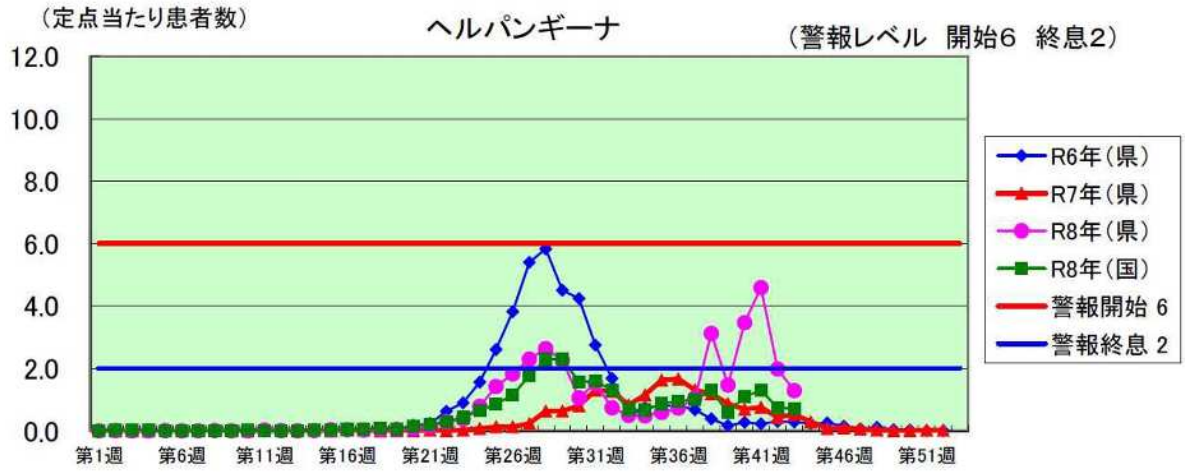
ヘルパンギーナが流行しています（第43週1.29）

2026年第20週（5/11～17）から定点当たり患者数が増加し、第28週（7/6～12）に定点あたり患者数2.64とピークとなり、第29週（7/13～19）以降は減少傾向でした。第35週（8/24～30）から再び、増加に転じ、第38週（9/14～20）からは急増し、**第41週（10/5～11）には定点あたり患者数4.59と警報レベル目前となりました（警報レベルの基準値：定点当たり患者数6人）。**年齢別の患者割合は5歳以下の未就学児が約85％以上です。

ヘルパンギーナは主に夏から秋にかけて流行する感染症で、急な高熱、咽頭痛、口腔粘膜の発疹が主症状です。咳やくしゃみによる飛沫感染、便や水疱からの接触感染などがありますので、手洗いを励行するとともに、排泄物を適切に処理することが大切です。

乳幼児は口内に病変がある場合には、飲食に痛みを伴い、食欲不振となることがあります。口の中の水疱に当たっても痛みが少ない薄味で軟らかい食事にしたり、少量ずつ分けて食べる等、水分補給、栄養補給に努めましょう。それでも水分が摂れず、尿の回数や量が減ってきたときや、高熱や嘔吐でぐったりしたり、頭痛が強いときは、医療機関を受診してください。また、受診に迷った際は、静岡こども救急電話相談（＃8000）を御利用ください。

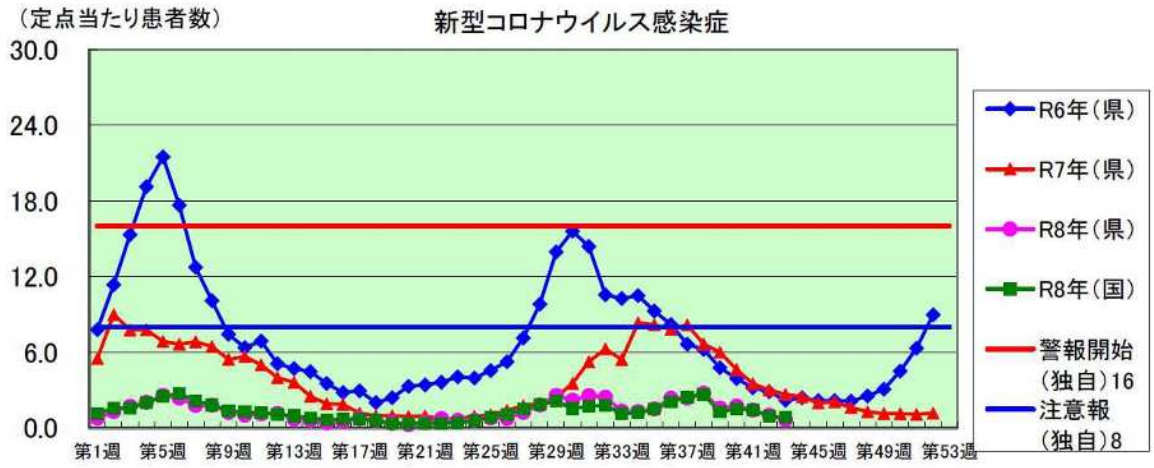
※警報レベルの開始は定点当たり患者数は6、警報レベルの終息は2です。



新型コロナウイルス感染症は約 1.0～2.5 を推移しています（第 43 週 0.63）

2026年第21週(5/18～24)から定点あたり患者数の増加傾向が続き、昨年と似た推移をたどっていました。しかし、第 32 週(8/3～9)から、患者数は減少傾向でしたが、第35週(8/24～30)から再度若干増加しています。

現在、感染拡大注意報基準である定点当たり8人を下回っていますが、県民の皆様には、引き続き、他の感染症の発生動向も御確認いただき、必要に応じて咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。



百日咳の流行は収まってきています（第 43 週 2 人）

2025 年第 28週（7/7～14）は 84人となり、全数把握感染症となった 2018 年以降の最高値を更新しました。（それまでの過去最高値は、2025年第26週（6/23～29）80人です。）。2025 年末から、減少傾向にあり、流行が収まってきました。

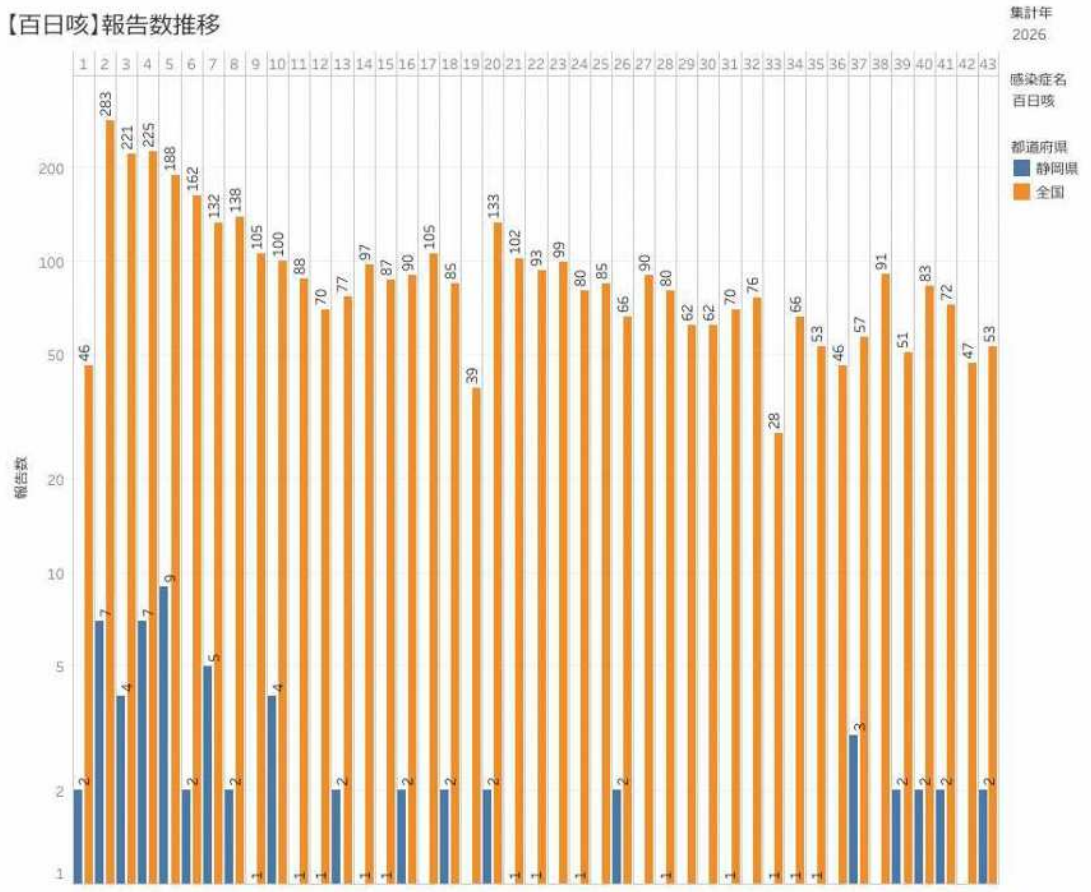
2026 年第 11 週（3/9～3/15）からは0～2人となっています。（第 43 週2人（東部1人、静岡市1人））。

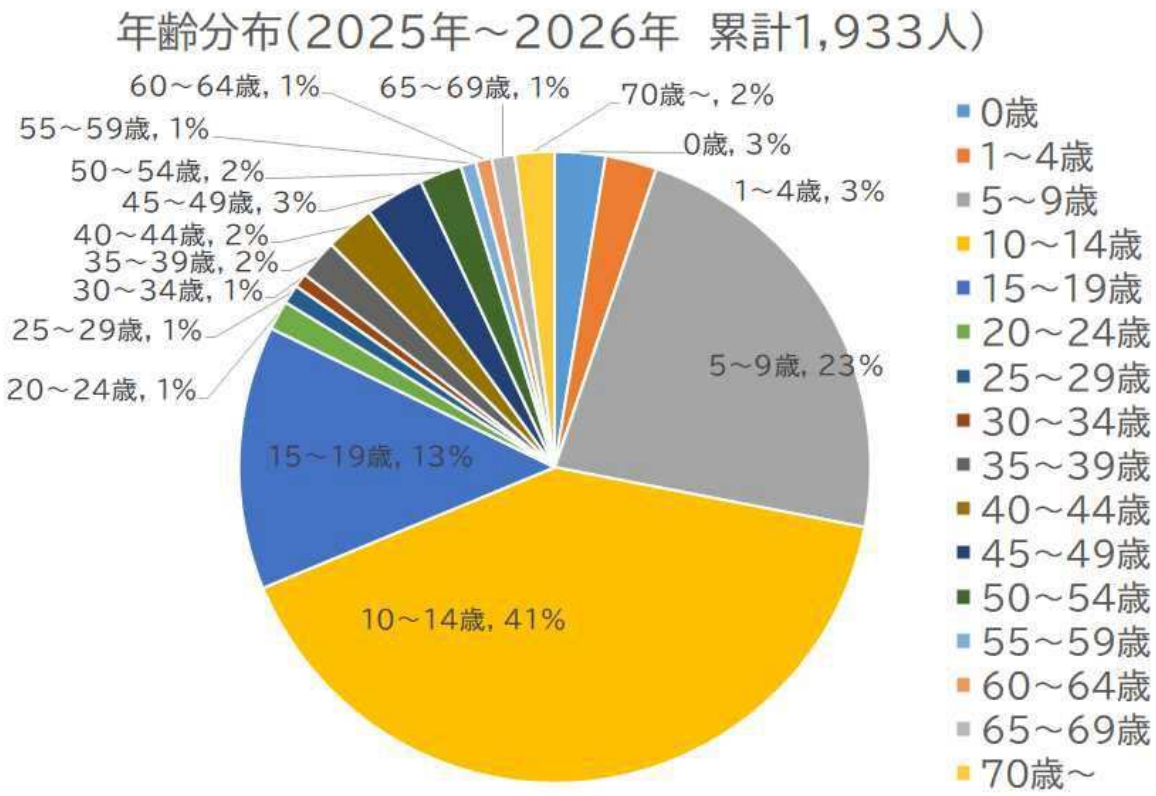
コンコンという咳が連発してよる眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

年齢分布では 10～14 歳が最多で、続いて5～9歳が多くなっています。百日咳を含むワクチンをまだ打っていない赤ちゃんがいる家庭で、兄弟が咳症状がある場合には赤ちゃんに近づかないようにしてください。

なお、生後6か月以下の赤ちゃんが百日咳にかかると呼吸がしにくくなるなど重症になる場合がありますので、2か月になったらすぐに5種混合ワクチン（百日咳ワクチンを含んでいます）を接種しましょう。また、咳のひどい人は赤ちゃんの世話を避けることも大切です。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構（JIHS）の感染症情報提供サイトを御覧ください。
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/




年齢分布(2025年～2026年 累計1,933人)
60～64歳, 1%
65～69歳, 1%
70歳～, 2%
55～59歳, 1%
0歳, 3%
50～54歳, 2%
1～4歳, 3%
45～49歳, 3%
40～44歳, 2%
35～39歳, 2%
30～34歳, 1%
25～29歳, 1%
5～9歳, 23%
20～24歳, 1%
15～19歳, 13%
10～14歳, 41%
0歳
1～4歳
5～9歳
10～14歳
15～19歳
20～24歳
25～29歳
30～34歳
35～39歳
40～44歳
45～49歳
50～54歳
55～59歳
60～64歳
65～69歳
70歳～

◆全数届出の感染症

感染症分類	感染症名	保健所名	報告数
2類感染症	結核	東部	3
		静岡市	2
		西部	1
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	富士	1
		西部	1
4類感染症	A型肝炎	浜松市	1
	重症熱性血小板減少症候群	東部	1
	日本紅斑熱	熱海	1
	レジオネラ症	浜松市	1
5類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く）	静岡市	2
	後天性免疫不全症候群	浜松市	1
	梅毒	中部	1
		浜松市	1
	百日咳	東部	1
		静岡市	1

保健所別の警報状況

警　報　インフルエンザ（御殿場）、ヘルパンギーナ（富士）

注意報　インフルエンザ（西部、浜松市）

警報・注意報・流行期入りの目安（新型コロナウイルス感染症以外）

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前：今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後：流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 （インフルエンザのみ）	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル 開始基準値	警報レベル 終息基準値	注意報レベル 基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	−
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	−
感染性胃腸炎	20.0	12.0	−
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	−
伝染性紅斑	2.0	1.0	−
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	−
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安（新型コロナウイルス感染症）

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1 週間当たりの新規感染者数が人口 10 万人当たり 200 人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口 10 万人当たり 400 人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症（県独自）

保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和８年第43週(10/19～10/25)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後４週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、１週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未満で終息します。

「注意報レベル」は１週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「１」があります。

１週間の定点医療機関あたり報告数が１を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、１週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

【五類感染症（定点把握）の追加：急性呼吸器感染症（ARI）】

将来的なパンデミックに備え、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等、すでに感染症発生動向調査の対象疾病となっている感染症以外が原因となる急性呼吸器感染症の発生傾向や発生水準を把握する目的で、急性呼吸器感染症（ARI）が、五類定点把握感染症に追加されることとなりました。（令和6年11月29日　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則改正　令和7年４月７日施行）

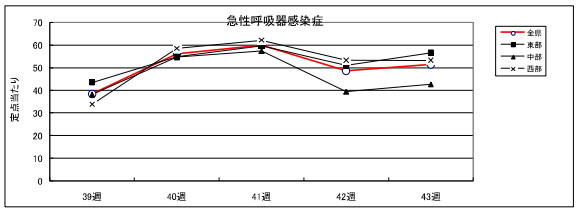
令和7年第15週から急性呼吸器感染症（ARI)も報告の対象となっています。

	警報レベル		注意報レベル
疾病	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	ー
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	ー
感染性胃腸炎	20.0	12.0	ー
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	ー
伝染性紅斑	2.0	1.0	ー
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	ー
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

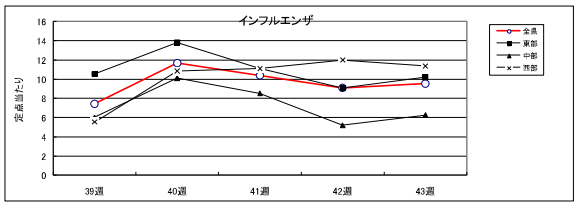
【今週のコメント】

第43週（10/19～10/25）の感染症発生動向調査では、急性呼吸器感染症（ARI）は、５１．４９人となり前週の４８．６１人から増加しました。インフルエンザは、９．５５となり前週の９．０９から増加しました。RSウイルス感染症は、２．０５となり前週の２．００から増加しました。感染性胃腸炎は、１．７４人となり前週の１．８３人から減少しました。マイコプラズマ肺炎は、１．６０人となり前週の１．００人から増加しました。ヘルパンギーナは、１．２９人となり前週の１．９８人から減少しました。

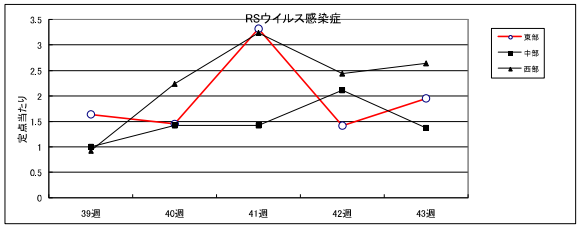
【急性呼吸器感染症】
全県で報患数5,561、定点当たり51.49の患者発生があり、前週の48.61から増加した。定点当たり東部地区で56.63、中部地区で42.63、西部地区で53.25の患者が発生した。



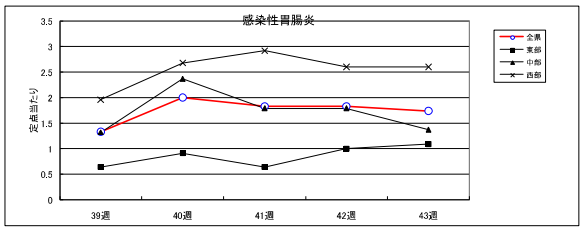
【インフルエンザ】
全県で報患数1,031、定点当たり9.55の患者発生があり、前週の9.09から増加した。定点当たり東部地区で10.21、中部地区で6.27、西部地区で11.38患者が発生した。



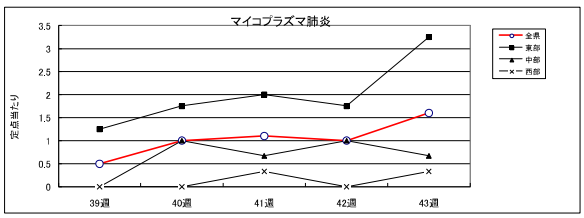
【RSウイルス感染症】
全県で報患数135、定点当たり2.05の患者発生があり、前週の2.00から増加した。定点当たり東部地区で1.95、中部地区で1.37、西部地区で2.64の患者が発生した。



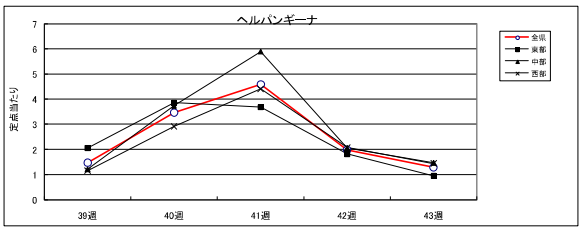
【感染性胃腸炎】
全県で報患数115、定点当たり1.74の患者発生があり、前週の1.83から減少した。定点当たり東部地区で1.09、中部地区で1.37、西部地区で2.60の患者が発生した。



【マイコプラズマ肺炎】
全県で報患数16、定点当たり1.60の患者発生があり、前週の1.00から増加した。定点当たり東部地区で3.25、中部地区で0.67、西部地区で0.33の患者が発生した。

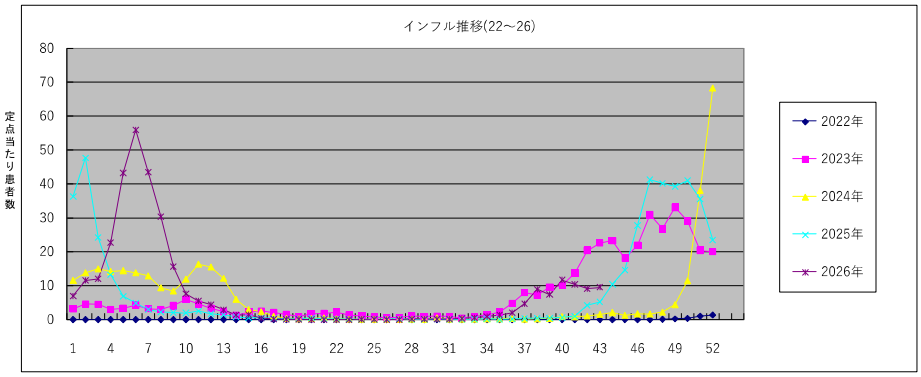


【ヘルパンギーナ】
全県で報患数85、定点当たり1.29の患者発生があり、前週の1.98から減少した。定点当たり東部地区で0.95、中部地区で1.47、西部地区で1.44の患者が発生した。



【その他】
・麻疹、風疹は患者発生なし。
・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は9.49であり、前週の9.08から増加した。警報レベルを有する都道府県は13、注意報レベルの保健所を有する都道府県は41であった。
・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は0.83で前週の0.89から減少した。
・静岡県において第43週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)急性呼吸器感染症(51.49)、2)インフルエンザ (9.55)、3)RSウイルス感染症(2.05)、4) 感染性胃腸炎(1.74)、5)マイコプラズマ肺炎(1.60)、6)ヘルパンギーナ(1.29)であった。

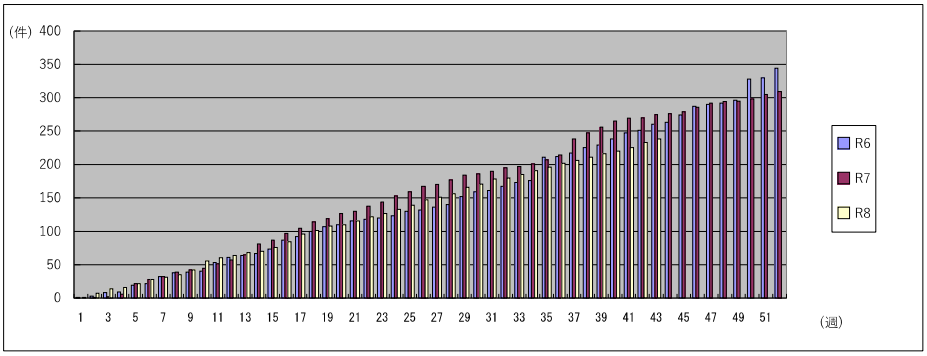
【インフルエンザ罹患数推移】



【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2026/2027シーズン)】　（令和8年第36週～）

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R8年　第36週～40週	静岡県	10			
	静岡市	4			
	浜松市	3			
R8年　第41週	静岡県				
	静岡市	1			
	浜松市	1			
R8年　第42週	静岡県				
	静岡市				
	浜松市	2			
R8年　第43週	静岡県	1			
	静岡市				
	浜松市	1			
合　計		23	0	0	0

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】
・第43週までの累計は238件で、前年同期比0.87倍であった。



急性呼吸器感染症（ARI）について

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスは、症例定義に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

平時から、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、県民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が5類感染症となりました。

症例定義

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ異常の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

詳細データは下記URL先を参照してください

（感染症発生状況見える化ダッシュボード）

https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/1065883/1073975.html

急性呼吸器感染症（ARI）の感染状況について

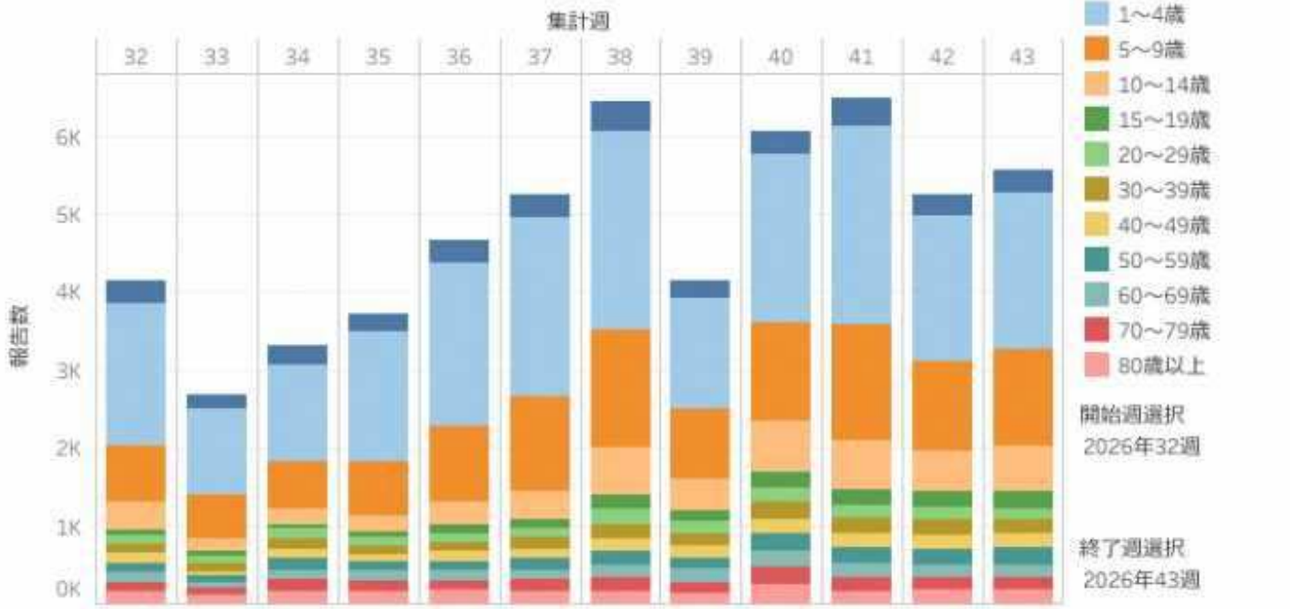
年週選択　2026年 第43週

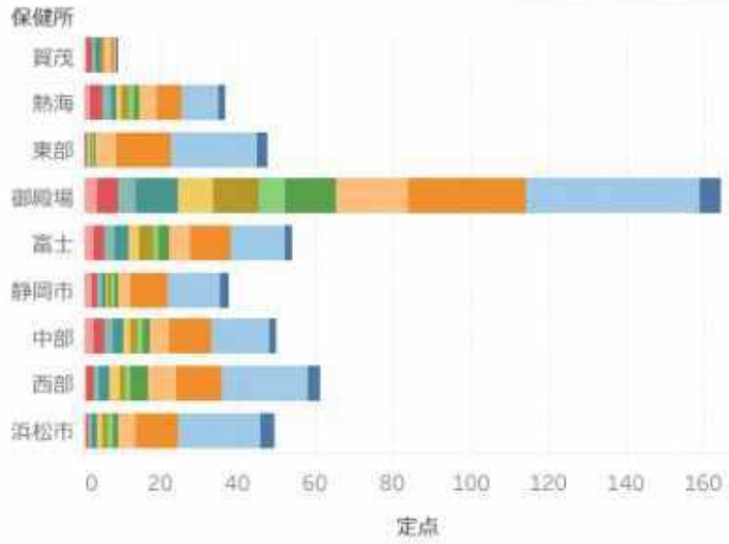
保健所別感染状況

保健所	報告数	定点
賀茂	26	8.67
熱海	219	36.50
東部	762	47.63
御殿場	658	164.50
富士	487	54.11
静岡市	680	37.78
中部	599	49.92
西部	794	61.08
浜松市	1,336	49.48

保健所	報告数	定点
静岡県	5,561	51.49
全国	225,234	60.51

年齢構成別報告数（県全体）

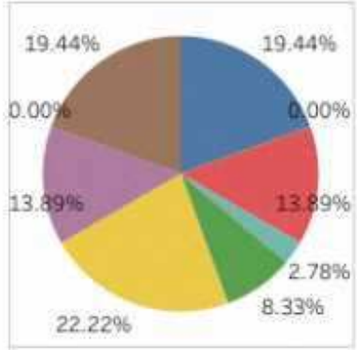




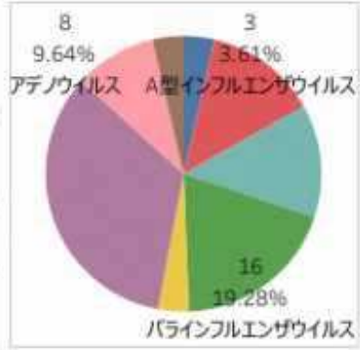
病原体定点から提出された検体の検査結果について

直近12週間の検体数

病原体20歳以上

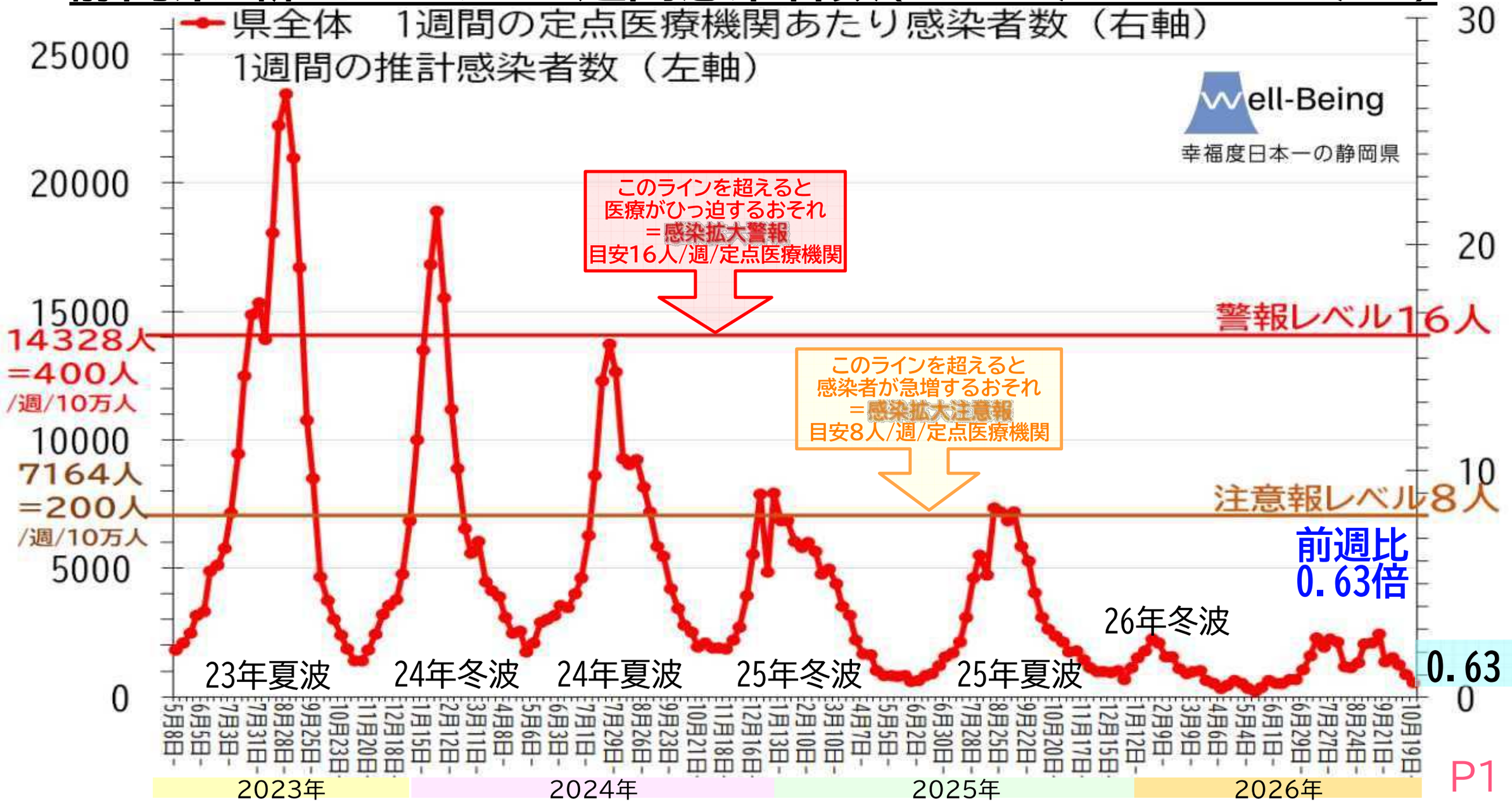


病原体20歳未満

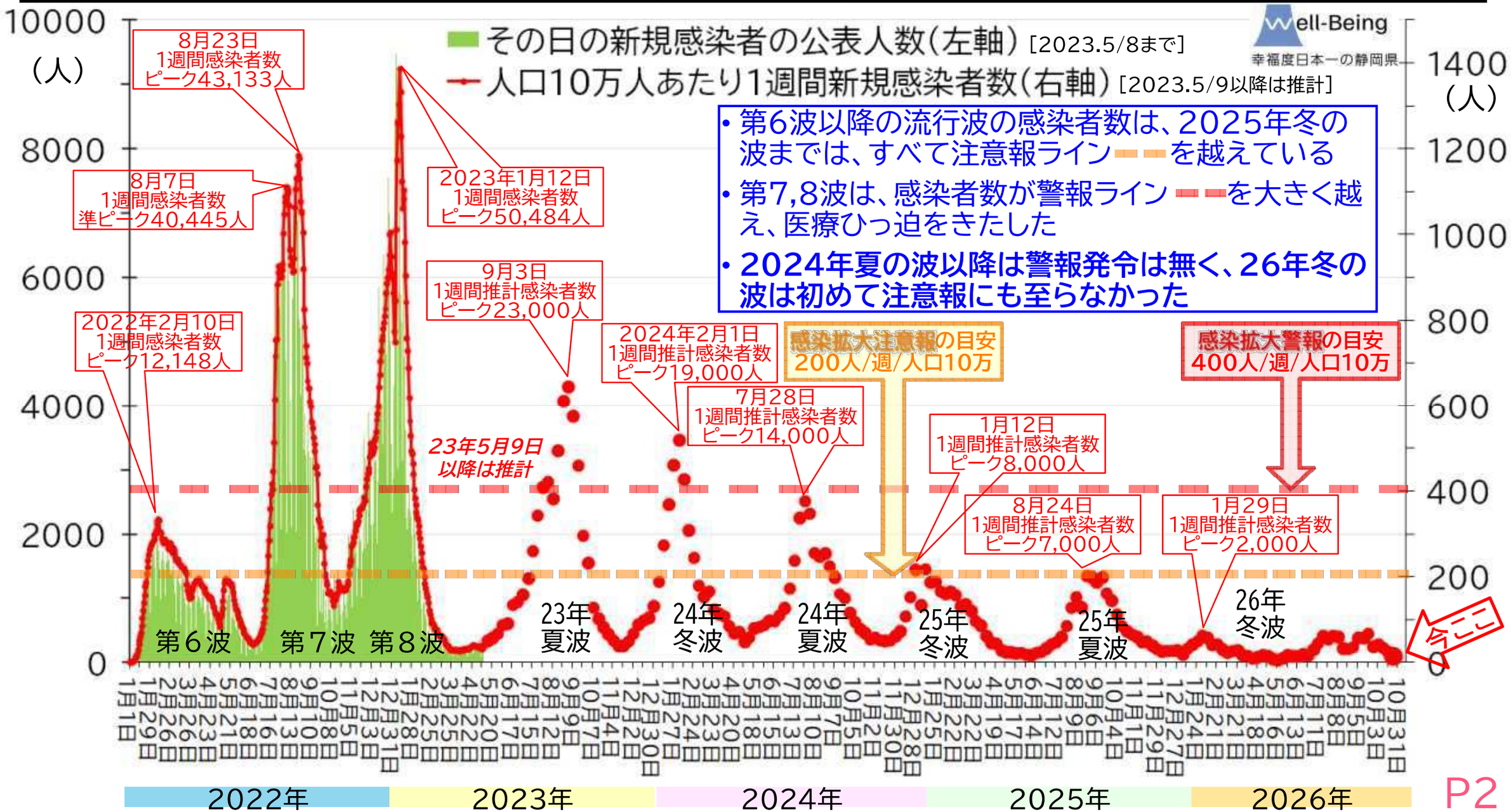




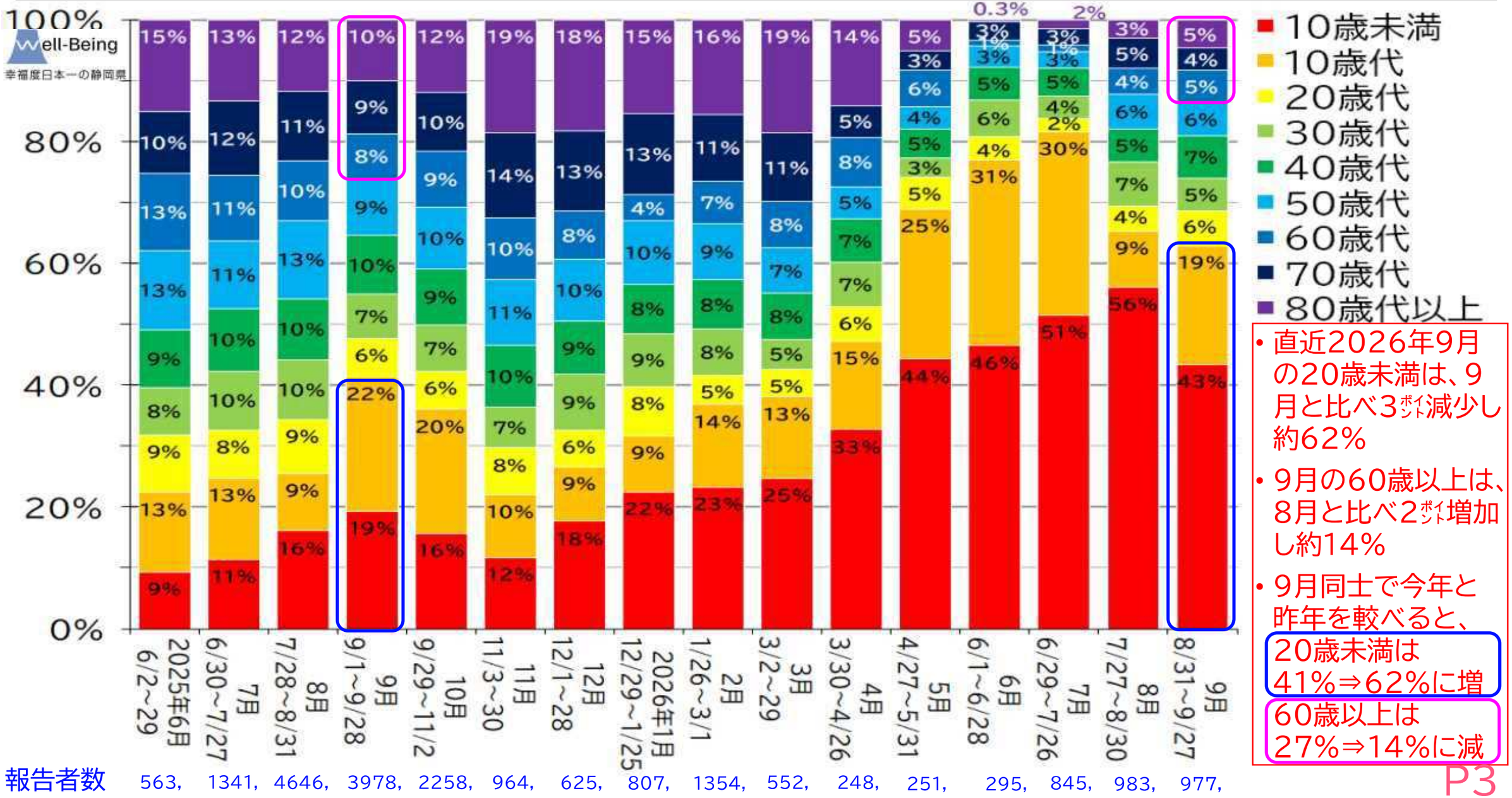
静岡県 新型コロナ １週間感染者数(2023.5/8～2026.10/25)



静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移（2022.1/1～2026.10/25）

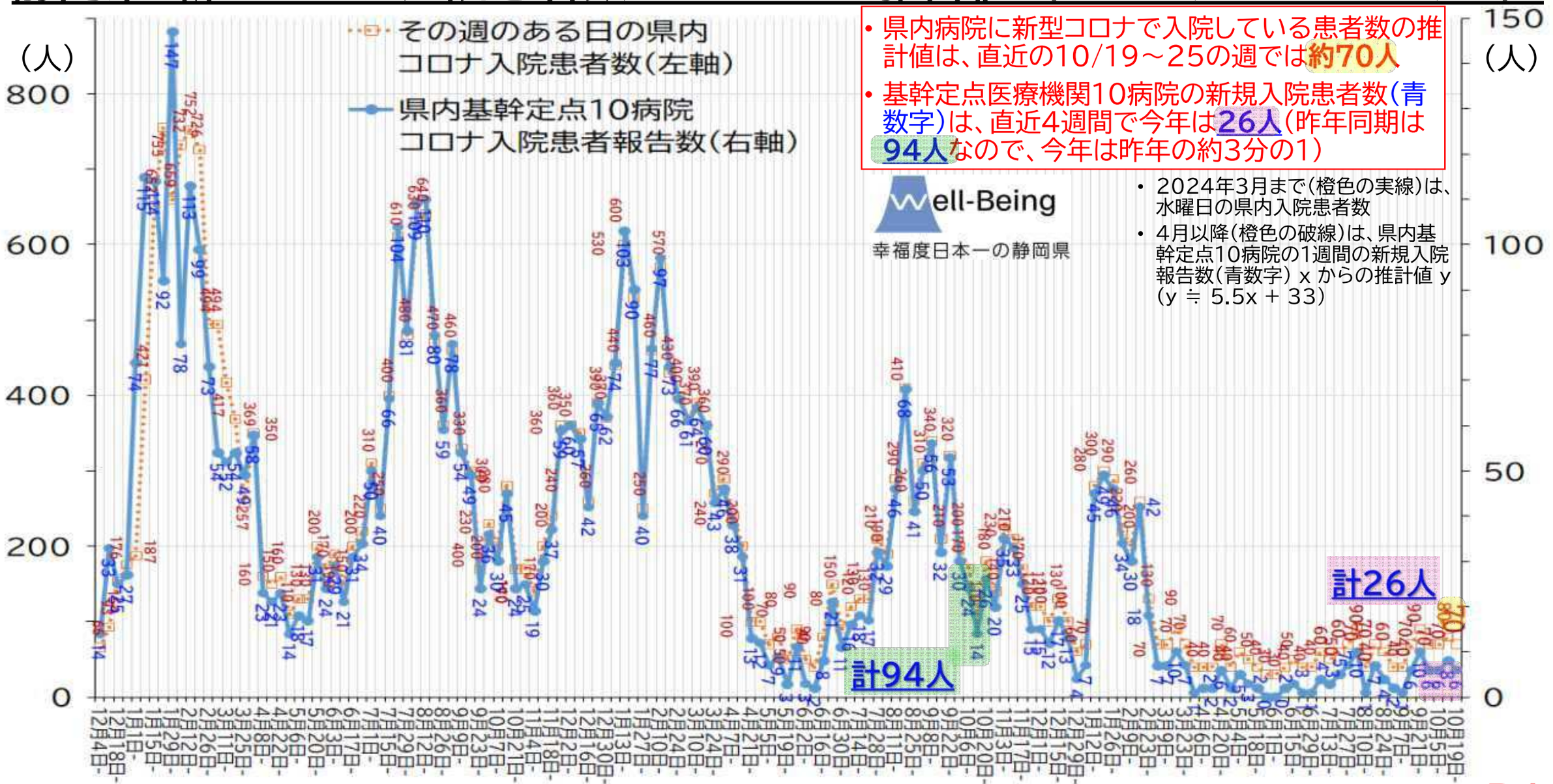


静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者の年代別割合推移(2025.4/28～2026.10/4)



- 直近2026年9月の20歳未満は、9月と比べ3ポイント減少し約62%
- 9月の60歳以上は、8月と比べ2ポイント増加し約14%
- 9月同士で今年と昨年を較べると、
  20歳未満は41%⇒62%に増
  60歳以上は27%⇒14%に減

静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値（2024.4/1～2026.10/25）

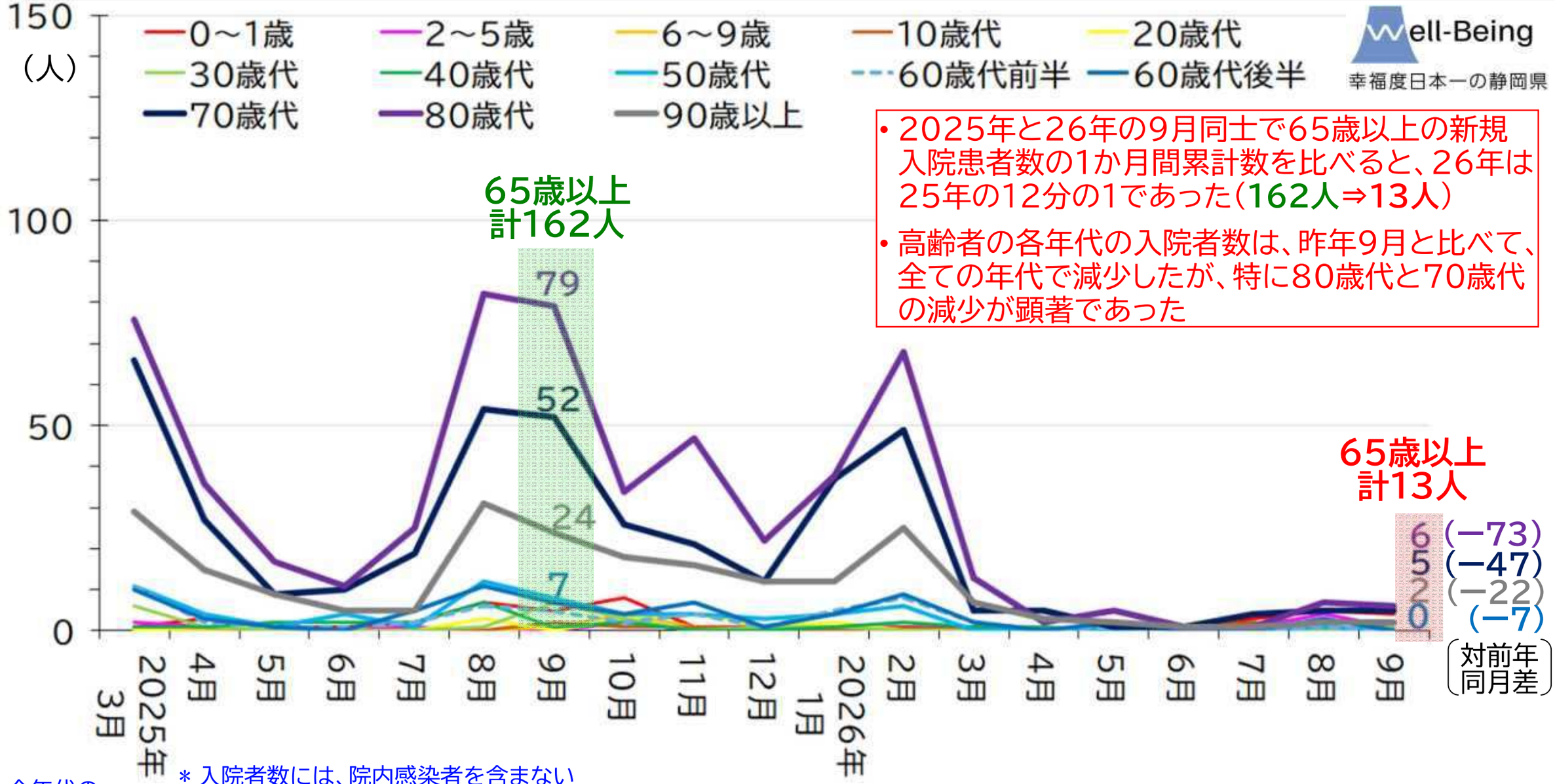


- 県内病院に新型コロナで入院している患者数の推計値は、直近の10/19～25の週では約70人
- 基幹定点医療機関10病院の新規入院患者数（青数字）は、直近4週間で今年は26人（昨年同期は94人なので、今年は昨年の約3分の1）

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

- 2024年3月まで（橙色の実線）は、水曜日の県内入院患者数
- 4月以降（橙色の破線）は、県内基幹定点10病院の1週間の新規入院報告数（青数字）x からの推計値 y（$y \fallingdotseq 5.5x + 33$）

静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移(2025.3月～2026.9月)



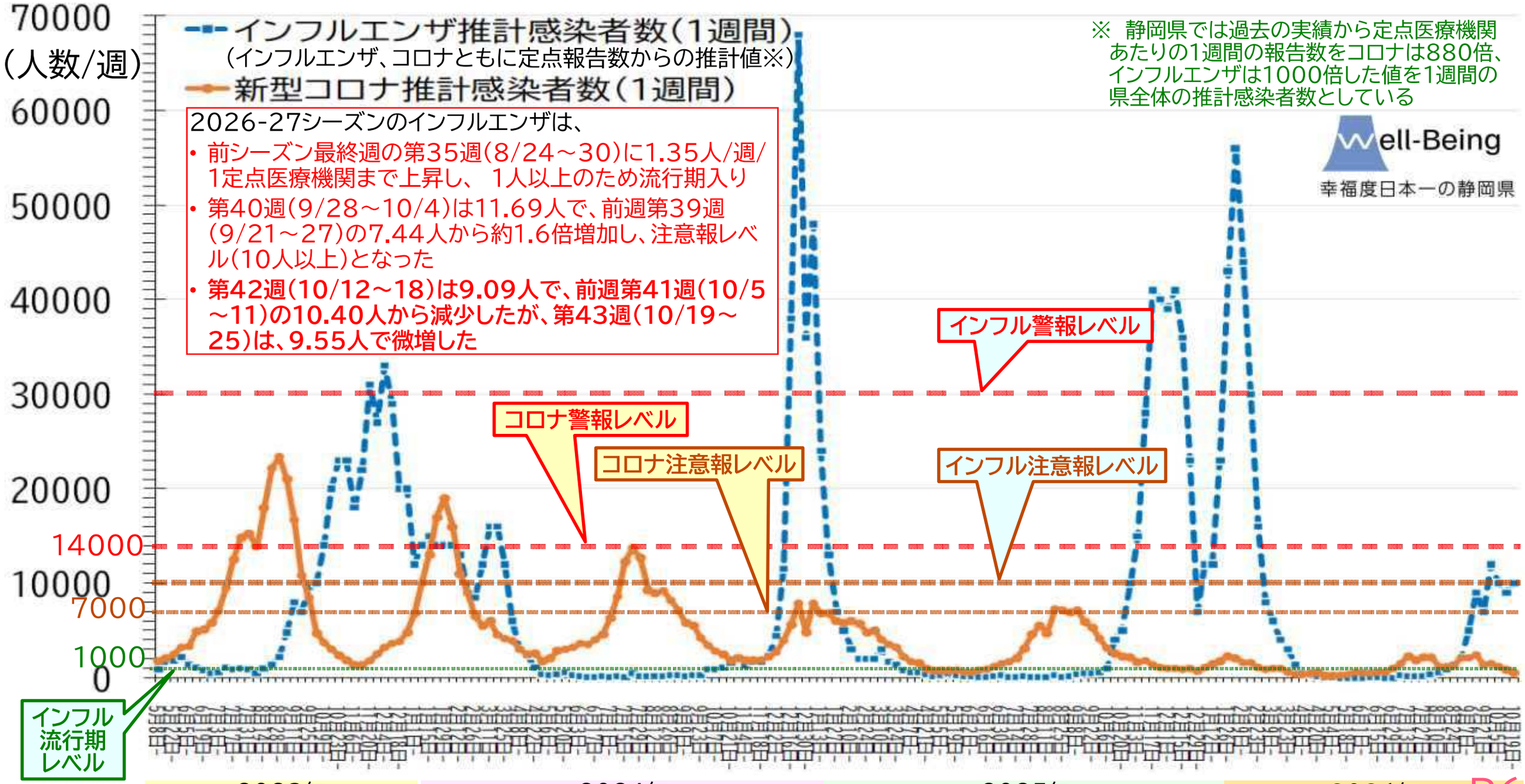
Well-Being
幸福度日本一の静岡県

- 2025年と26年の9月同士で65歳以上の新規入院患者数の1か月間累計数を比べると、26年は25年の12分の1であった(162人⇒13人)
- 高齢者の各年代の入院者数は、昨年9月と比べて、全ての年代で減少したが、特に80歳代と70歳代の減少が顕著であった

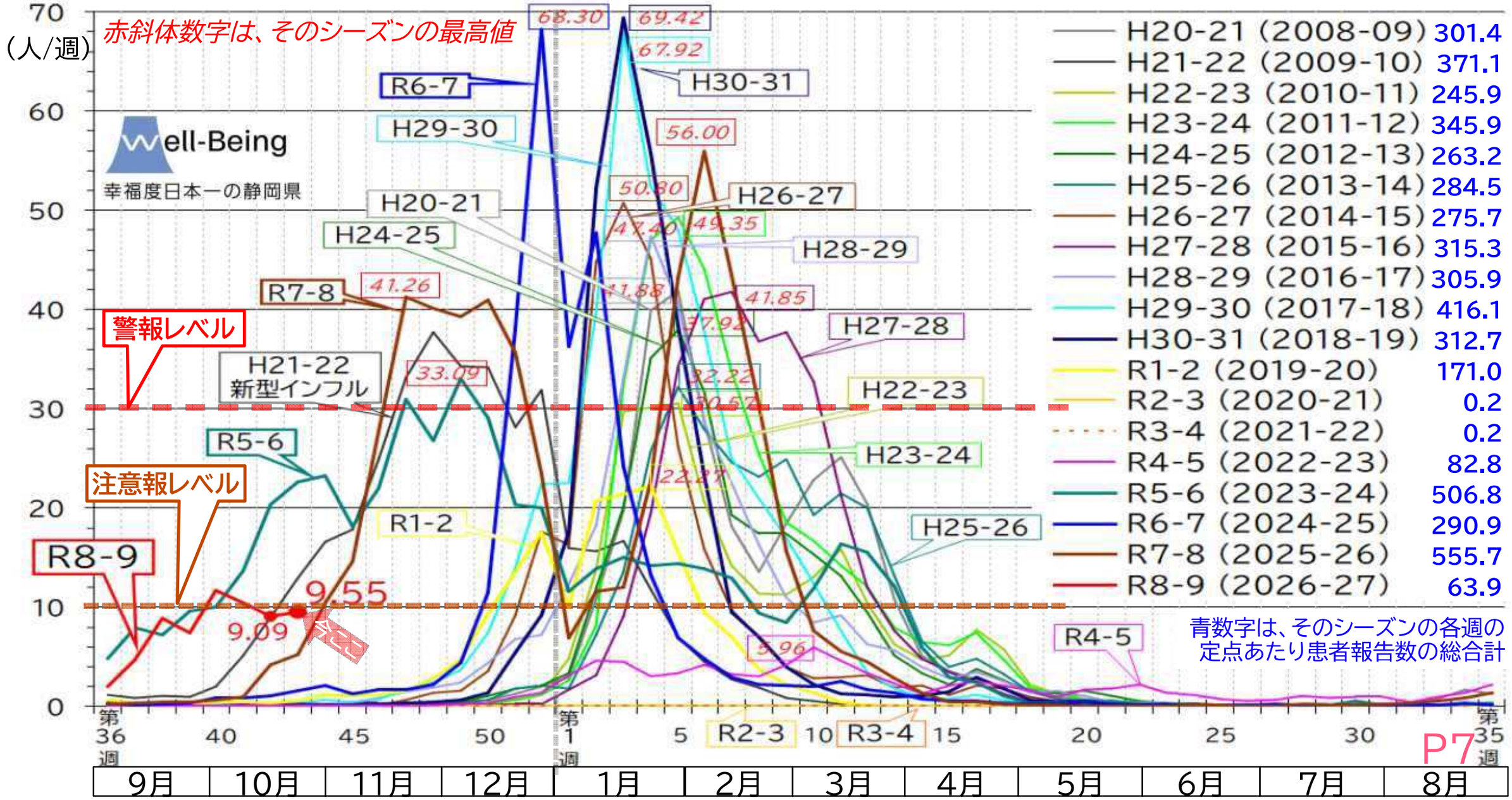
＊入院者数には、院内感染者を含まない

全年代の入院者数*	213,	95,	42,	34,	62,	214,	191,	111,	106,	54,	105,	170,	31,	11,	12,	6,	13,	29,	19,

静岡県　新型コロナとインフルエンザの流行の状況（2023.5/8～2026.10/25）

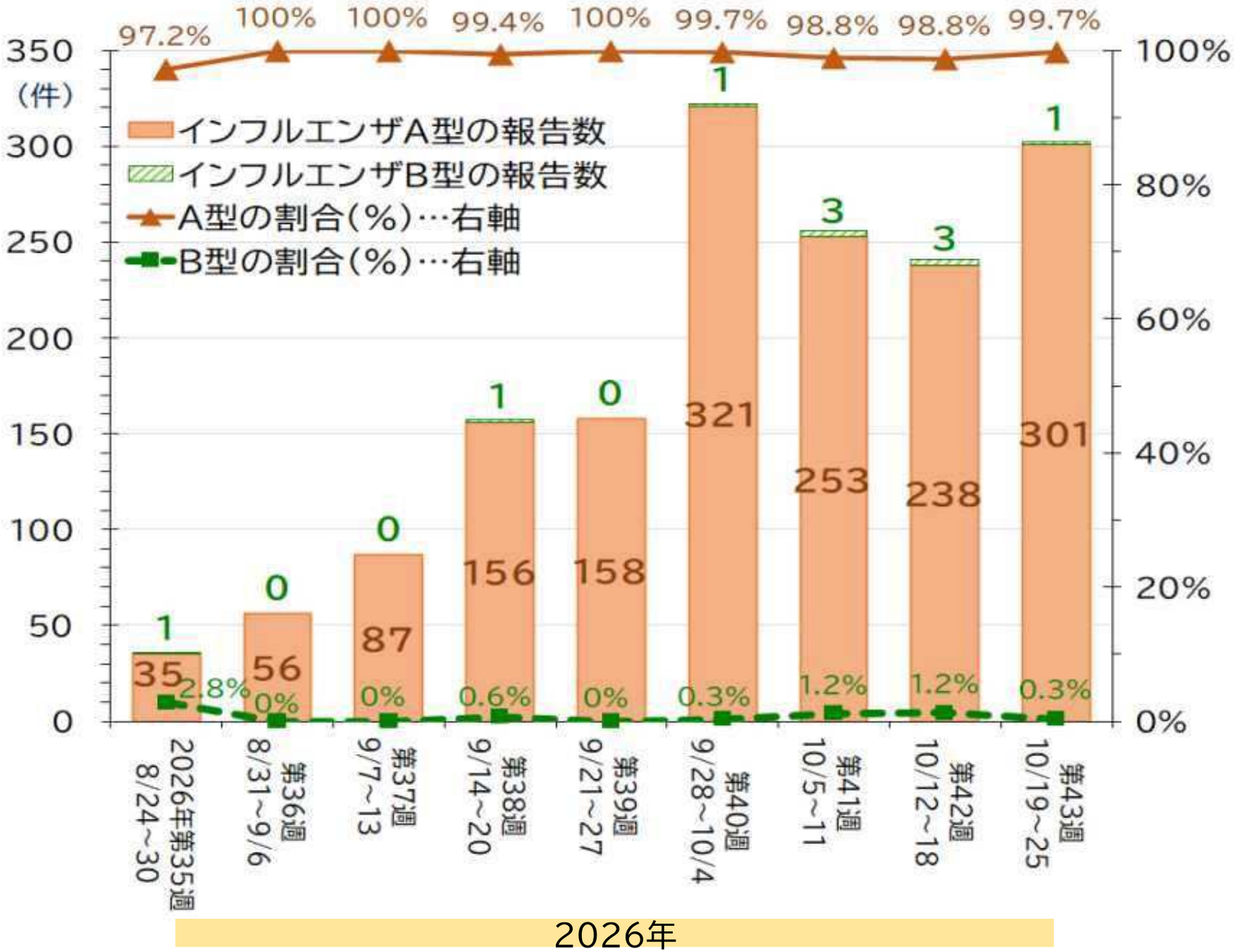


静岡県　インフルエンザ 定点医療機関からの患者報告数　今季と過去18季の比較



P7

静岡県 インフルエンザ 定点医療機関(一部)のA型とB型の状況(2026.8/24～10/25)

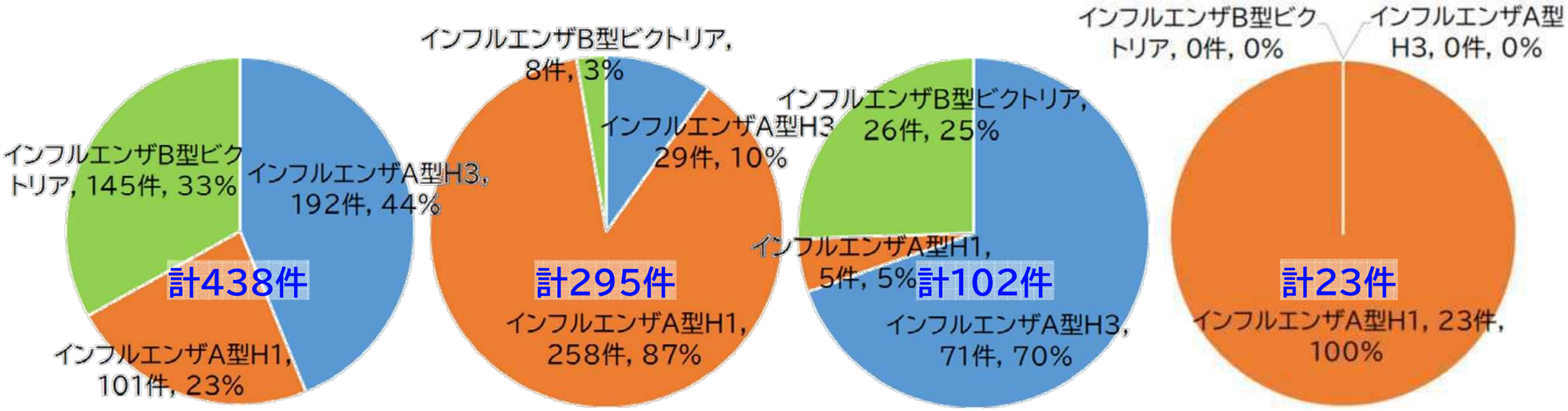


- 今シーズンのインフルエンザ流行期に、A型・B型別の報告数を教えていただいた一部(約20施設)の定点医療機関からの報告総数をA型・B型別に週ごとにまとめたもの
- ほとんどがA型

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

静岡県内衛生研究所(県,静岡市,浜松市) インフルエンザウイルス型別検出の状況(2023.10/2～2026.10/25)

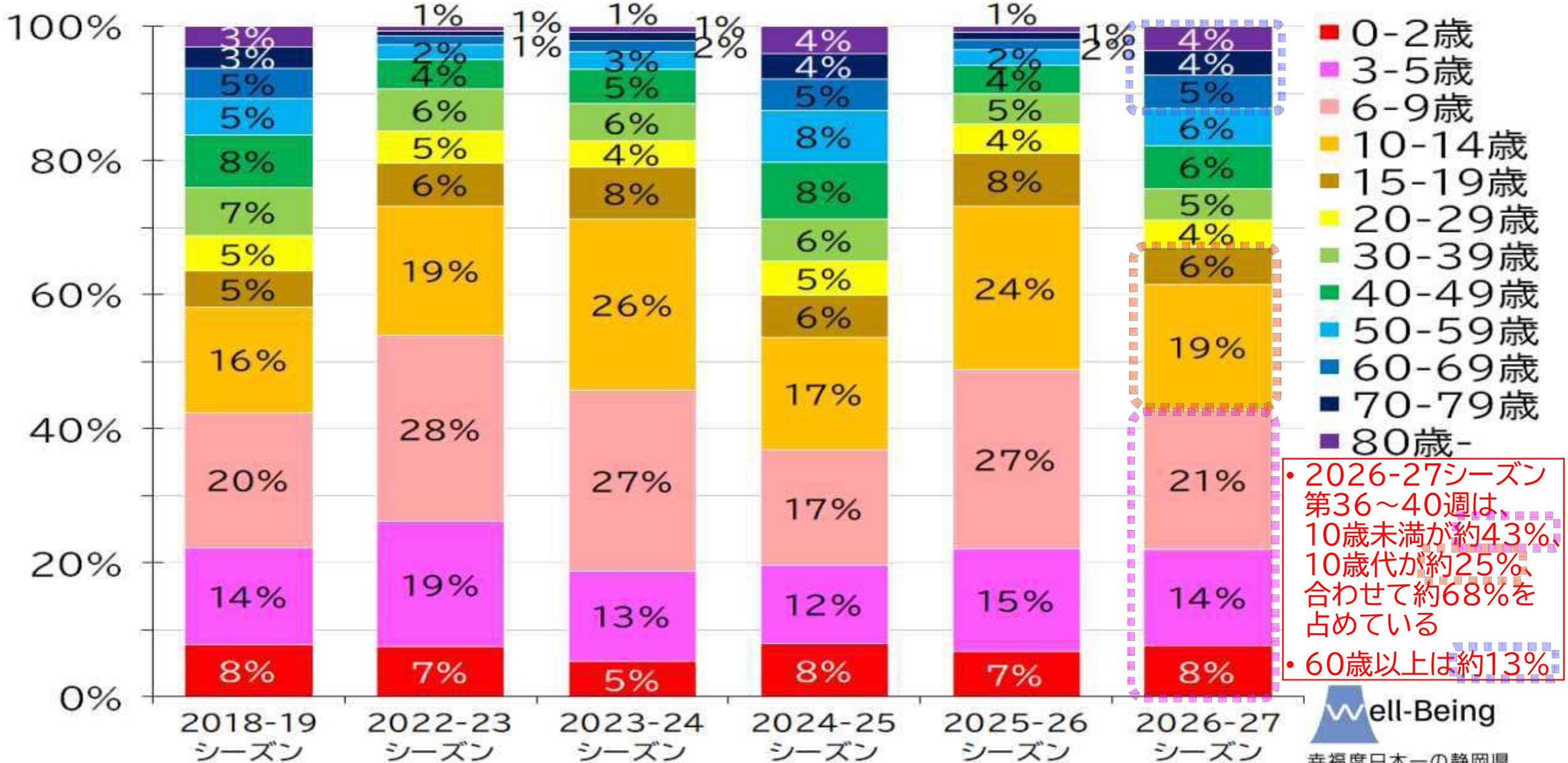
2023-24シーズン	2024-25シーズン	2025-26シーズン	2026-27シーズン
2023年 第40～52週 ＋ 2024年 第1～22週 (2023.10/2～2024.6/2)	2024年 第36～52週 ＋ 2025年 第1～14週 (2024.9/2～2025.4/6)	2025年 第36～52週 ＋ 2026年 第1～15週 (2025.9/1～2026.4/12)	2026年 第36～43週 (2026.8/31～10/25)



Well-Being
幸福度日本一の静岡県

- 今シーズンの季節性インフルエンザは、昨シーズンに最も少なかったインフルエンザA型H1が主体で流行が始まっている

静岡県 インフルエンザ 近年6シーズンの報告患者の年齢分布

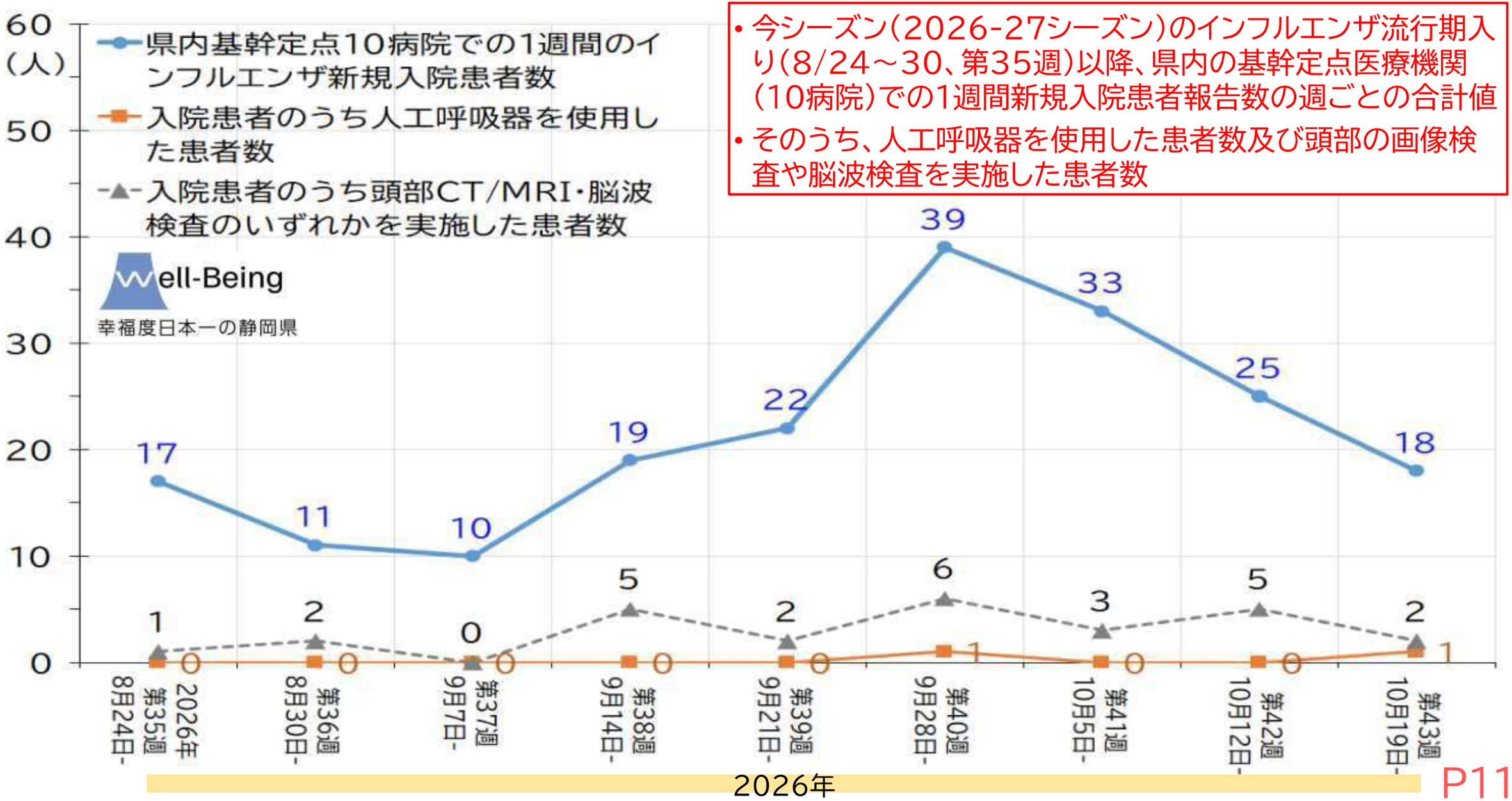


- 2026-27シーズン第36～40週は、10歳未満が約43%、10歳代が約25%、合わせて約68%を占めている
- 60歳以上は約13%

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

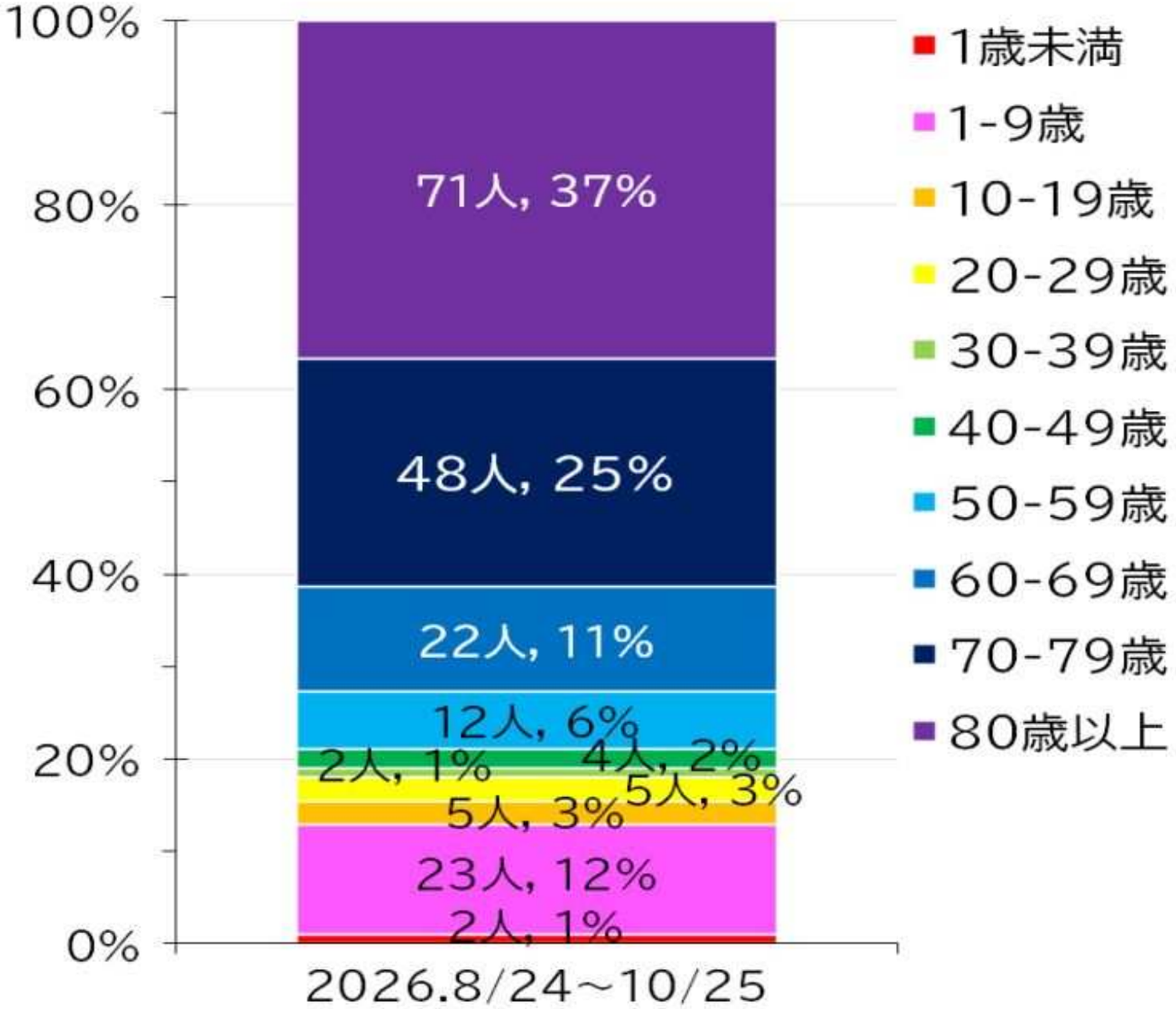
（2026.8/30～10/25）

静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者数の推移（2026.8/24～10/25）



- 今シーズン（2026-27シーズン）のインフルエンザ流行期入り（8/24～30、第35週）以降、県内の基幹定点医療機関（10病院）での1週間新規入院患者報告数の週ごとの合計値
- そのうち、人工呼吸器を使用した患者数及び頭部の画像検査や脳波検査を実施した患者数

静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者年齢分布（2026.8/24～10/25）



総入院者数　194人

- 今シーズン（2026-27シーズン）のインフルエンザ流行期入り以降（8/24～30、第35週）における、県内の基幹定点医療機関（10病院）での1週間新規入院患者を累計した集団の年齢分布
- 全体で累計194人
- 80歳以上が最多で37%、次いで70歳代が25%、1-9歳が12%

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

県内インフルエンザ注意報発令です



あらためて４つのお願い



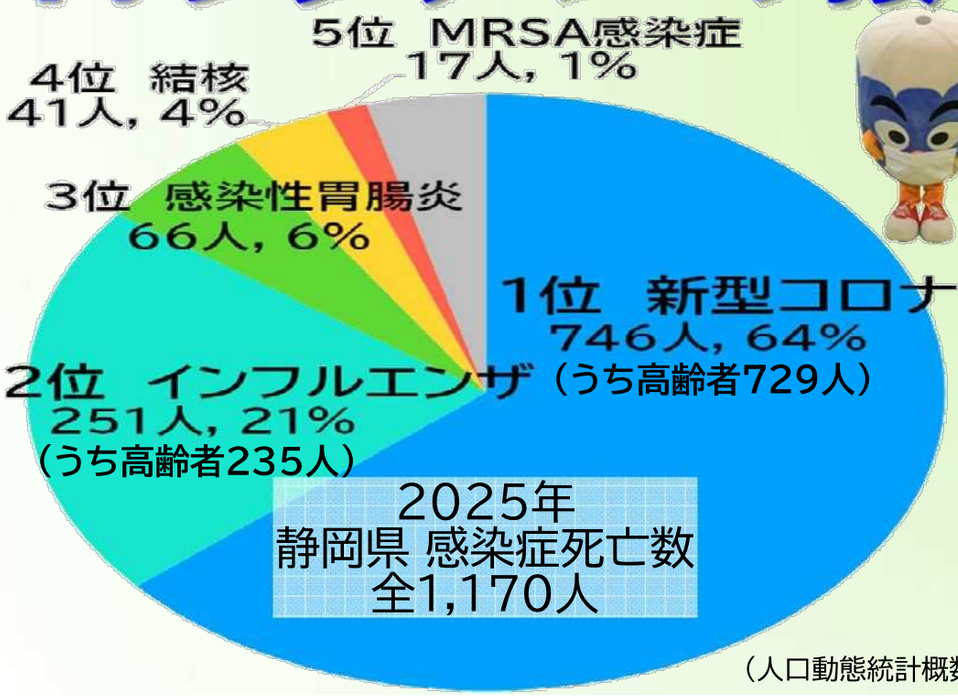
1. 医療機関や高齢者施設の受診や訪問時は、できるだけマスク着用を!
2. 体調に少しでも違和感（だるさ、寒気）がある時は、人と会うときにマスク着用を!
3. 急に症状（熱・頭痛・のど痛）が出たときは、学校や仕事をすぐに休んで療養を!
4. 人が集まる所では、換気と咳エチケット（咳くしゃみが出る時は口鼻をおおう）を!

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

コロナ禍以降，コロナワクチンもインフルエンザワクチンも高齢者の接種率が低下！

インフルエンザとコロナは、静岡県の昨年の感染症による死亡者数第1位と第2位です。

両ワクチンの接種をぜひご検討ください。



（人口動態統計概数より）



（静岡県感染症対策課調べ）

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

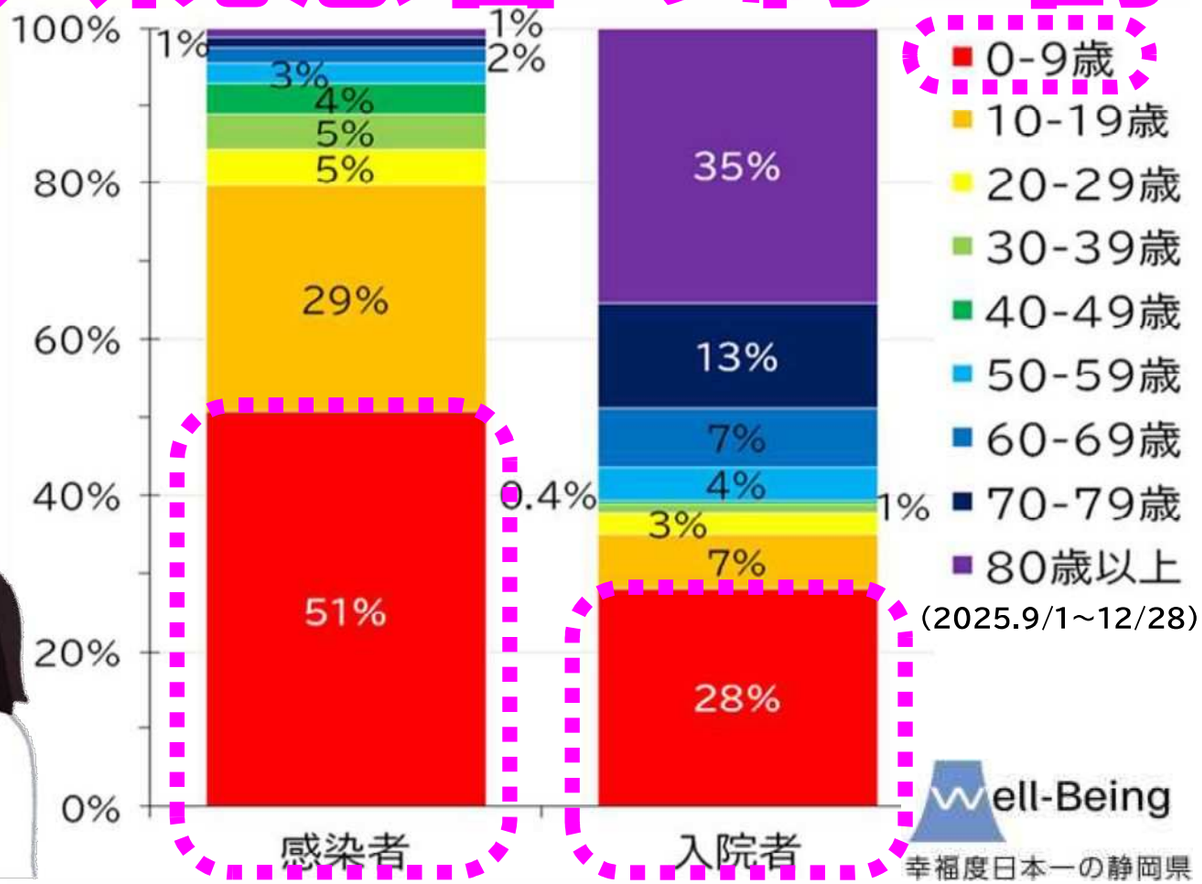
昨シーズンの**インフルエンザ**は静岡県では**10歳未満の子ども**が**感染者の約5割、入院患者の約3割**を占めています！





生後6か月以上の**子どものインフルエンザワクチン**の接種をぜひご検討ください





急病センターや当番医を受診



しようか迷ったら…



救急車を呼ぼうか迷ったら…

15歳以上は ＃７１９

15歳未満は ＃８０００



で電話相談を！

Well-Being
幸福度日本一の静岡県

感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第　43　週　令和8年10月19日　～　令和8年10月25日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	インフルエンザA型	301名	（インフルエンザB型　1名）
2	RSウイルス感染症	28名	
3	マイコプラズマ肺炎	16名	

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
熱海	髙野医院	新型コロナウイルス感染症	5	
熱海	髙野医院	インフルエンザA型	8	
熱海	髙野医院	急性呼吸器感染症	54	
熱海	伊東市民病院	インフルエンザA型	3	
熱海	むらかみ小児科クリニック	インフルエンザA型	7	
熱海	むらかみ小児科クリニック	マイコプラズマ肺炎	7	3歳男児、5歳女児、7歳女児、8歳女児2名、10歳男児、11歳男児
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	RSウイルス感染症	24	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	インフルエンザA型	62	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	新型コロナウイルス感染症	1	
東部	医療法人社団真理会　光ケ丘小児科	マイコプラズマ肺炎	6	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会　富士病院	インフルエンザA型	17	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	RSウイルス感染症	4	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザA型	37	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザB型	1	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	新型コロナウイルス感染症	1	
御殿場	なかがわ医院	インフルエンザA型	5	
富士	平野医院	インフルエンザA型	1	
静岡市	こどもクリニックみなと	マイコプラズマ肺炎	1	13歳男
静岡市	かどたこどもクリニック	マイコプラズマ肺炎	1	10～14歳女
浜松市	クリニック・パパ	ヒトメタニューモ	2	1才男1女1
浜松市	クリニック・パパ	インフルエンザA型	38	6ヶ月未女1・6～12ヶ月男1・1才男1・2才男5・3才男8女1・4才男2女1・5才男1女2・6才男2女1・7才男1・9才男1・10～14才男4女6
浜松市	げんきこどもクリニック	インフルエンザA型	4	3才女1・4才男1女1・5才女1
浜松市	いぬかい小児科	インフルエンザA型	14	3才女1・5才男1・6才男1・7才男1・10～14才男4女2・30代男1女1・40代女2
浜松市	幸田子供クリニック	インフルエンザA型	40	6～12ヶ月女1・1才男2女1・2才女1・3才男2・4才男1女1・5才女3・6才男1女5・7才男4女・8才男2女1・9才男1・10～14才男2女2・15～19才男1
浜松市	おおば小児科	インフルエンザA型	12	3才男1女1・4才女1・6才男1女1・7才男1・8才女2・9才男1・11才男1・12才男1・14才女1
浜松市	天竜こども医院	インフルエンザA型	13	2才男1・7才女1・8才女2・10～14才男2女6・15～19才男1
浜松市	やわたの森こどもクリニック	マイコプラズマ肺炎	1	
浜松市	やわたの森こどもクリニック	ヒトメタニューモ	1	
浜松市	縣医院	インフルエンザA型	9	10～14才男1・15～19才男2女1・40代男2女1・50代男1・80才以上女1
浜松市	くまがいクリニック	インフルエンザA型	15	10～14才男4女2・15～19才男2・30代男1女1・40代男1女1・50代男2女1
浜松市	大竹内科医院	インフルエンザA型	10	7才女1・15～19才男1女1・20代男1女1・30代女1・40代女1・50代男2女1
浜松市	医療法人社団健勝会　鈴木診療院	インフルエンザA型	1	61才男
浜松市	みかえ内科クリニック	インフルエンザA型	2	50代男1・60代女1
浜松市	クリニック・パパ	帯状疱疹	1	12才男
浜松市	金指こどもクリニック	インフルエンザA型	3	7才男1・8才男1・9才男1

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。
（「静岡県　感染症週報」で検索）
https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html

第 43 週

疾患名	区分	静岡県							全国				
		第 38週	第 39週	第 40週	第 41週	第 42週	今週	年累計	第 40週	第 41週	第 42週	今週	年累計
エボラ出血熱	1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリミア・コンゴ出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痘そう		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南米出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペスト		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マールブルグ病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性灰白髄炎	2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核		4	5	12	5	6	6	294	261	235	202	278	12420
ジフテリア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症急性呼吸器症候群(SARS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コレラ	3類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
細菌性赤痢		0	0	0	0	0	0	2	1	3	2	1	59
腸管出血性大腸菌感染症		4	1	4	2	0	2	65	122	73	75	84	3713
腸チフス		0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	33
パラチフス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	16
E型肝炎	4類	0	0	0	0	0	0	6	7	4	11	7	525
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎含む)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A型肝炎		0	0	0	0	0	1	6	11	5	8	9	350
エキノコックス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
エムポックス		0	0	0	1	0	0	1	5	6	3	2	151
黄熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オウム病		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
オムスク出血熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回帰熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
キャサヌル森林病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狂犬病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コクシジオイデス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
ジカウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)		0	0	0	0	0	1	9	2	4	4	2	161
腎症候性出血熱(HFRS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部ウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダニ媒介脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
炭疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チクングニア熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
つつが虫病		0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	69
デング熱		1	0	0	0	0	0	2	8	6	4	5	132
東部ウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニパウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱		2	0	0	0	0	1	14	27	30	34	42	579
日本脳炎		0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	7
ハンタウイルス肺症候群(HPS)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Bウイルス病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ベネズエラウマ脳炎		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘンドラウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発しんチフス		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア		0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	41
野兎病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
リッサウイルス感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
類鼻疽		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
レジオネラ症		2	4	2	3	3	1	81	66	88	75	45	2314
レプトスピラ症		0	0	0	0	0	0	0	5	2	3	1	29
ロッキー山紅斑熱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメーバ赤痢	5類	0	0	0	0	2	0	18	6	11	7	5	414
ウイルス性肝炎		0	0	0	0	0	0	1	5	2	6	3	177
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		0	1	0	0	1	0	16	10	12	18	18	824
急性弛緩性麻痺		0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	26
急性脳炎		1	0	1	2	1	2	16	15	14	14	14	463
クリプトスポリジウム症		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	8
クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	0	0	0	7	0	8	2	3	145
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	1	0	0	0	0	34	18	12	18	20	1047
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)		0	0	0	0	0	1	16	8	17	8	13	779
ジアルジア症		0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	42
侵襲性インフルエンザ菌感染症		0	0	0	0	1	0	7	10	6	5	5	459
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	48
侵襲性肺炎球菌感染症		2	0	0	1	0	0	46	22	22	28	27	2143
水痘(入院例)		0	0	0	0	0	0	16	7	8	7	5	686
先天性風しん症候群		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
多剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0	0	0	1	7	2	6	4	208
梅毒		4	4	5	5	2	2	238	148	142	146	147	9405
播種性クリプトコックス症		0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	138
破傷風		0	0	0	0	0	0	1	4	2	1	5	99
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	0	0	0	0	0	9	0	0	4	1	62
百日咳		0	2	2	2	0	2	94	83	72	47	53	4825
風しん		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
麻しん		0	0	0	0	0	0	4	0	3	0	3	581
薬剤耐性アシネトバクター感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
新型インフルエンザ等感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。(「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。)
※令和8年4月6日から薬剤耐性緑膿菌感染症は多剤耐性緑膿菌に名称変更し、全数把握感染症に変更になりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2026 第 43 週

		静岡県							全国				
		第38週	第39週	第40週	第41週	第42週	今週	計	第40週	第41週	第42週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	117	78	115	181	132	135	758	2,327	3,192	2,446	2,528	10,493
	咽頭結膜熱	12	1	6	7	6	11	43	484	399	400	465	1,748
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	32	87	53	66	66	362	2,907	3,194	2,684	3,067	11,852
	感染性胃腸炎	125	88	132	121	121	115	702	7,373	7,254	6,339	7,166	28,132
	水痘	4	3	7	4	6	5	29	467	350	453	394	1,664
	手足口病	52	12	38	27	13	12	154	1,834	2,068	1,354	1,333	6,589
	伝染性紅斑	1	2	0	0	2	0	5	40	77	45	54	216
	突発性発しん	13	8	15	16	15	10	77	599	597	542	565	2,303
	ヘルパンギーナ	206	97	229	303	131	85	1051	2,465	2,933	1,666	1,607	8,671
	流行性耳下腺炎	2	2	8	1	1	11	25	107	85	70	85	347
小・内	インフルエンザ	965	804	1263	1123	982	1031	6168	42,320	47,746	33,864	35,440	159,370
	新型コロナウイルス感染症	298	170	187	152	108	68	983	5,635	5,362	3,313	3,109	17,419
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	4	5	1	14	24
	流行性角結膜炎	6	2	5	6	0	2	21	451	437	359	359	1,606
基幹	細菌性髄膜炎	0	1	0	0	1	0	2	7	7	3	9	26
	無菌性髄膜炎	0	0	1	1	2	0	4	25	31	33	31	120
	マイコプラズマ肺炎	4	5	10	11	10	16	56	305	315	295	394	1,309
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	6	4	4	5	19
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	1	−	3	1	5

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	66	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	42	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2026 第 43 週

		静岡県						全国			
		第38週	第39週	第40週	第41週	第42週	今週	第40週	第41週	第42週	今週
小児科	RSウイルス感染症	1.77	1.18	1.74	2.74	2.00	2.05	1.03	1.42	1.09	1.12
	咽頭結膜熱	0.18	0.02	0.09	0.11	0.09	0.17	0.22	0.18	0.18	0.21
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	0.48	1.32	0.80	1.00	1.00	1.29	1.42	1.19	1.36
	感染性胃腸炎	1.89	1.33	2.00	1.83	1.83	1.74	3.28	3.22	2.82	3.18
	水痘	0.06	0.05	0.11	0.06	0.09	0.08	0.21	0.16	0.20	0.17
	手足口病	0.79	0.18	0.58	0.41	0.20	0.18	0.81	0.92	0.60	0.59
	伝染性紅斑	0.02	0.03	0.00	0.00	0.03	0.00	0.02	0.03	0.02	0.02
	突発性発しん	0.20	0.12	0.23	0.24	0.23	0.15	0.27	0.27	0.24	0.25
	ヘルパンギーナ	3.12	1.47	3.47	4.59	1.98	1.29	1.10	1.30	0.74	0.71
	流行性耳下腺炎	0.03	0.03	0.12	0.02	0.02	0.17	0.05	0.04	0.03	0.04
小・内	インフルエンザ	8.94	7.44	11.69	10.40	9.09	9.55	11.35	12.81	9.08	9.49
	新型コロナウイルス感染症	2.76	1.57	1.73	1.41	1.00	0.63	1.51	1.44	0.89	0.83
眼科	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.02
	流行性角結膜炎	0.27	0.09	0.23	0.27	0.00	0.09	0.65	0.63	0.52	0.52
基幹	細菌性髄膜炎	0.00	0.10	0.00	0.00	0.10	0.00	0.01	0.01	0.01	0.02
	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.10	0.10	0.20	0.00	0.05	0.06	0.07	0.06
	マイコプラズマ肺炎	0.40	0.50	1.00	1.10	1.00	1.60	0.64	0.66	0.61	0.82
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	−	0.01	0.00

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	66	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	42	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数＝定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

定点把握感染症保健所別集計表

第 43 週　　定点把握感染症　保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	135	2.05	11	0.17	66	1.00	115	1.74	5	0.08
賀茂	1	0.50	0	0.00	0	0.00	6	3.00	0	0.00
熱海	0	0.00	1	0.25	0	0.00	9	2.25	0	0.00
東部	32	3.56	5	0.56	4	0.44	0	0.00	2	0.22
御殿場	6	3.00	2	1.00	4	2.00	8	4.00	1	0.50
富士	4	0.80	0	0.00	3	0.60	1	0.20	1	0.20
静岡市	13	1.18	1	0.09	17	1.55	16	1.45	0	0.00
中部	13	1.63	1	0.13	2	0.25	10	1.25	0	0.00
西部	15	1.88	1	0.13	6	0.75	17	2.13	0	0.00
浜松市	51	3.00	0	0.00	30	1.76	48	2.82	1	0.06

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	12	0.18	0	0.00	10	0.15	85	1.29	11	0.17
賀茂	1	0.50	0	0.00	0	0.00	1	0.50	0	0.00
熱海	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	0.25
東部	1	0.11	0	0.00	3	0.33	8	0.89	0	0.00
御殿場	1	0.50	0	0.00	0	0.00	1	0.50	0	0.00
富士	0	0.00	0	0.00	0	0.00	11	2.20	0	0.00
静岡市	2	0.18	0	0.00	3	0.27	17	1.55	0	0.00
中部	0	0.00	0	0.00	0	0.00	11	1.38	0	0.00
西部	2	0.25	0	0.00	1	0.13	9	1.13	10	1.25
浜松市	5	0.29	0	0.00	3	0.18	27	1.59	0	0.00

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関（定点）数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	1031	9.55	68	0.63	8.0	16.0	66	42
賀茂	15	5.00	1	0.33	13.0	26.0	2	1
熱海	36	6.00	7	1.17	9.0	18.0	4	2
東部	152	9.50	10	0.63	8.0	16.0	9	7
御殿場	103	25.75	4	1.00	17.0	34.0	2	2
富士	82	9.11	3	0.33	11.0	22.0	5	4
静岡市	95	5.28	8	0.44	6.0	12.0	11	7
中部	93	7.75	6	0.50	8.0	16.0	8	4
西部	174	13.38	17	1.31	10.0	20.0	8	5
浜松市	281	10.41	12	0.44	7.0	14.0	17	10

【静岡県内保健所一覧】

保健所	管轄市町
賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町
熱海	熱海市、伊東市
東部	沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町
御殿場	御殿場市、小山町
富士	富士市、富士宮市
静岡市	静岡市
中部	藤枝市、島田市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町
西部	磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、森町
浜松市	浜松市

第 43 週　　定点把握感染症　保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0	0.00	2	0.09	0	0.00	0	0.00	1.60	1.60
賀茂	…	…	…	…	－	－	－	－	－	－
熱海	…	…	…	…	－	－	－	－	5	5.00
東部	－	－	1	0.25	－	－	－	－	－	－
御殿場	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
富士	－	－	－	－	－	－	－	－	8	8.00
静岡市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
中部	－	－	－	－	－	－	－	－	2	2.00
西部	－	－	1	0.25	－	－	－	－	－	－
浜松市	－	－	－	－	－	－	－	－	1	0.50

保健所名	クラミジア肺炎（オウム病は除く）		感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0.00	0.00	0.00	0.00
賀茂	－	－	－	－
熱海	－	－	－	－
東部	－	－	－	－
御殿場	…	…	…	…
富士	－	－	－	－
静岡市	－	－	－	－
中部	－	－	－	－
西部	－	－	－	－
浜松市	－	－	－	－

指定届出機関（定点）数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

2026 第 43 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							計
RSウイルス感染症	7	9	81	22	7	3	2	1	1			1		1							135
咽頭結膜熱	2		5				2	1		1											11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	1	7	9	8	8	7	10	4	8		3							66
感染性胃腸炎	2	7	14	12	8	8	6	5	7	4	4	28	3	7							115
水痘			1								1	1		2							5
手足口病	1		7	2				1						1							12
伝染性紅斑																					0
突発性発しん			8	1	1																10
ヘルパンギーナ	1	4	22	10	13	11	10	1	4	2	4	3									85
流行性耳下腺炎		1	3		2	4			1												11

年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ	4	14	25	34	58	53	52	60	64	55	35	187	61	30	55	68	58	51	35	32	1,031
新型コロナウイルス感染症			4	2	3	2	1	2		1		11	3	4	3	4	14	5	3	6	68

年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		計
急性出血性結膜炎																					0
流行性角結膜炎														1	1						2

年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					計
細菌性髄膜炎																					0
無菌性髄膜炎																					0
マイコプラズマ肺炎		6	5	3	1											1					16
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					0
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					0

定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2026 第 43 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							計
RSウイルス感染症	0.11	0.14	1.23	0.33	0.11	0.05	0.03	0.02	0.02			0.02		0.02							2.05
咽頭結膜熱	0.03		0.08				0.03	0.02		0.02											0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.02	0.02	0.11	0.14	0.12	0.12	0.11	0.15	0.06	0.12		0.05							1.00
感染性胃腸炎	0.03	0.11	0.21	0.18	0.12	0.12	0.09	0.08	0.11	0.06	0.06	0.42	0.05	0.11							1.74
水痘			0.02								0.02	0.02		0.03							0.08
手足口病	0.02		0.11	0.03				0.02						0.02							0.18
伝染性紅斑																					-
突発性発しん			0.12	0.02	0.02																0.15
ヘルパンギーナ	0.02	0.06	0.33	0.15	0.20	0.17	0.15	0.02	0.06	0.03	0.06	0.05									1.29
流行性耳下腺炎		0.02	0.05		0.03	0.06			0.02												0.17

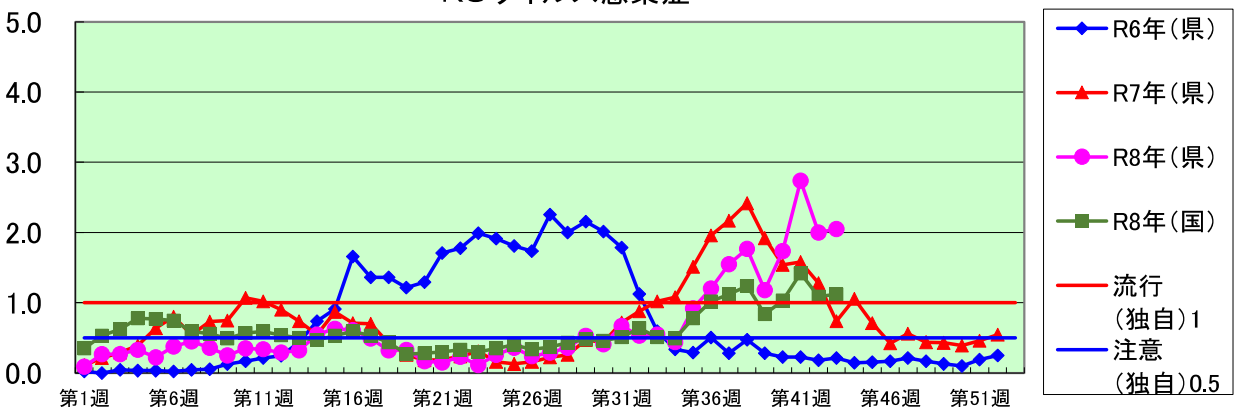
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ	0.04	0.13	0.23	0.31	0.54	0.49	0.48	0.56	0.59	0.51	0.32	1.73	0.56	0.28	0.51	0.63	0.54	0.47	0.32	0.30	9.55
新型コロナウイルス感染症			0.04	0.02	0.03	0.02	0.01	0.02		0.01		0.10	0.03	0.04	0.03	0.04	0.13	0.05	0.03	0.06	0.63

年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎														0.05	0.05						0.09

年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					計
細菌性髄膜炎																					
無菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎		0.60	0.50	0.30	0.10											0.10					1.60
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

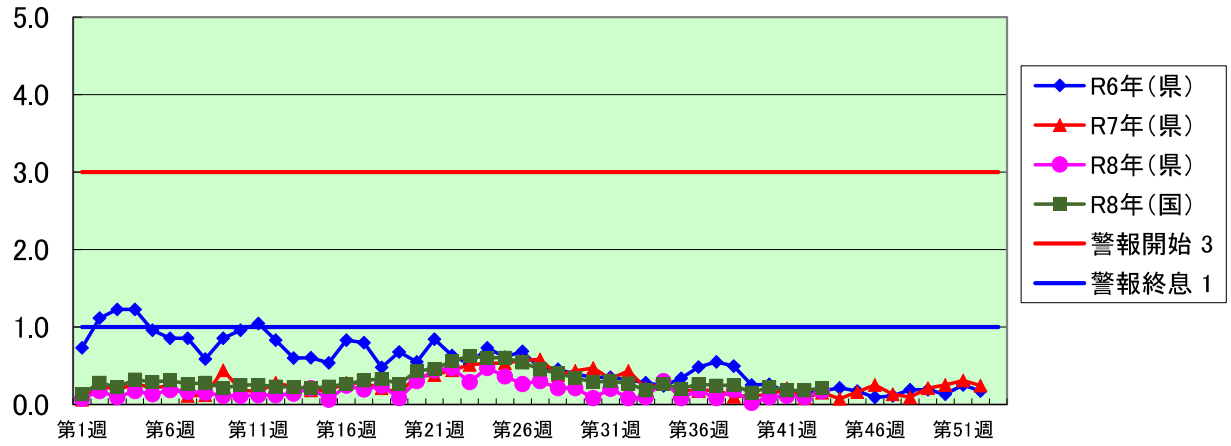
（定点当たり患者数）

RSウイルス感染症



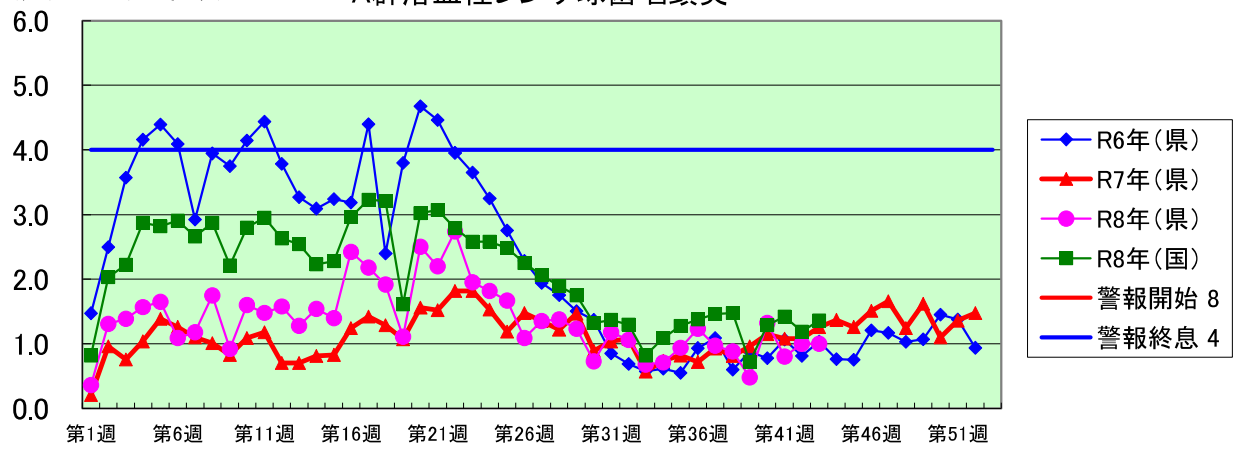
（定点当たり患者数）

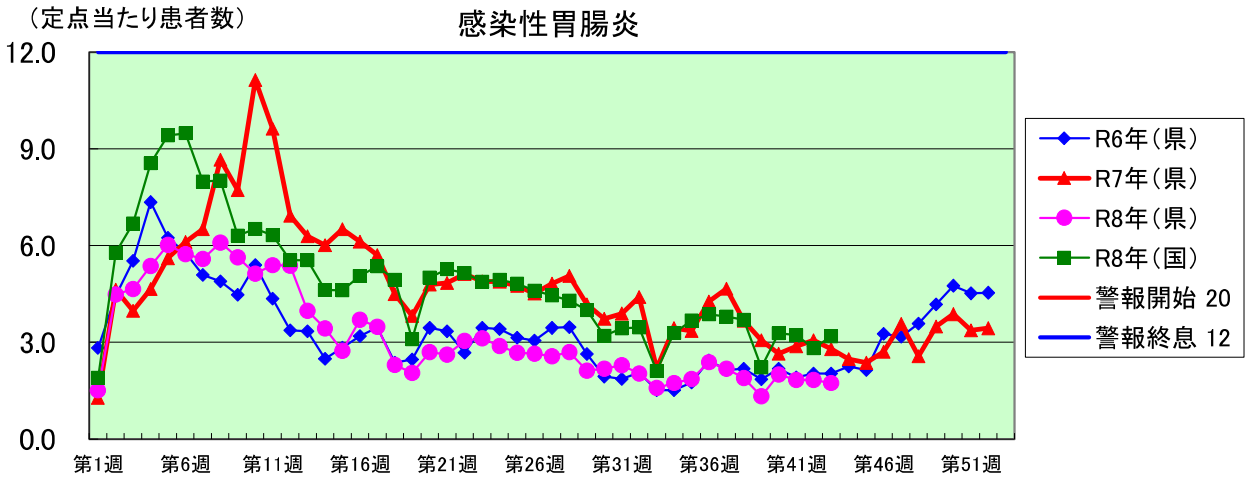
咽頭結膜熱

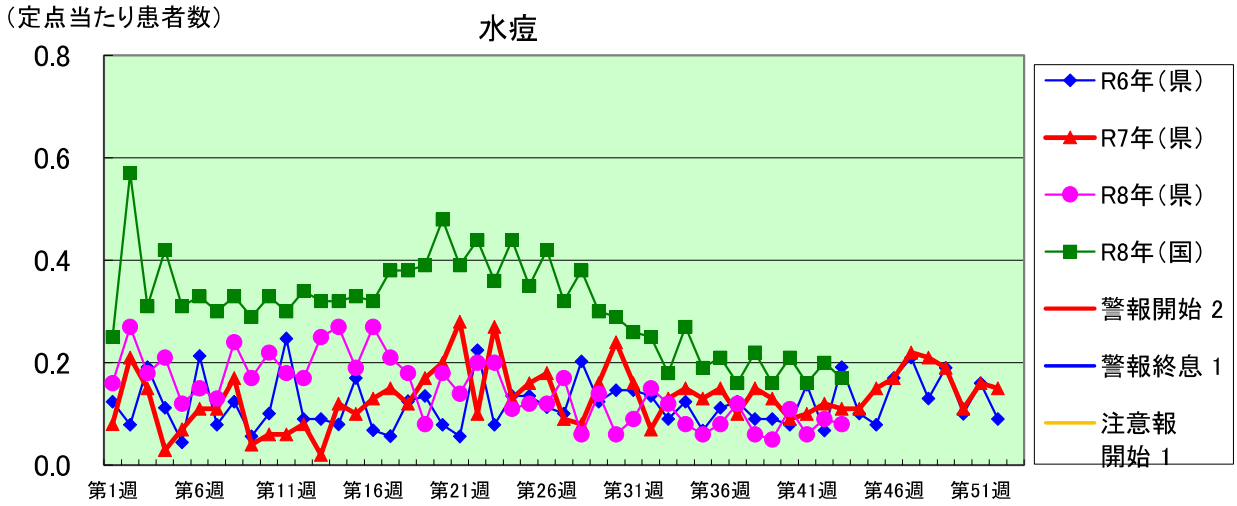


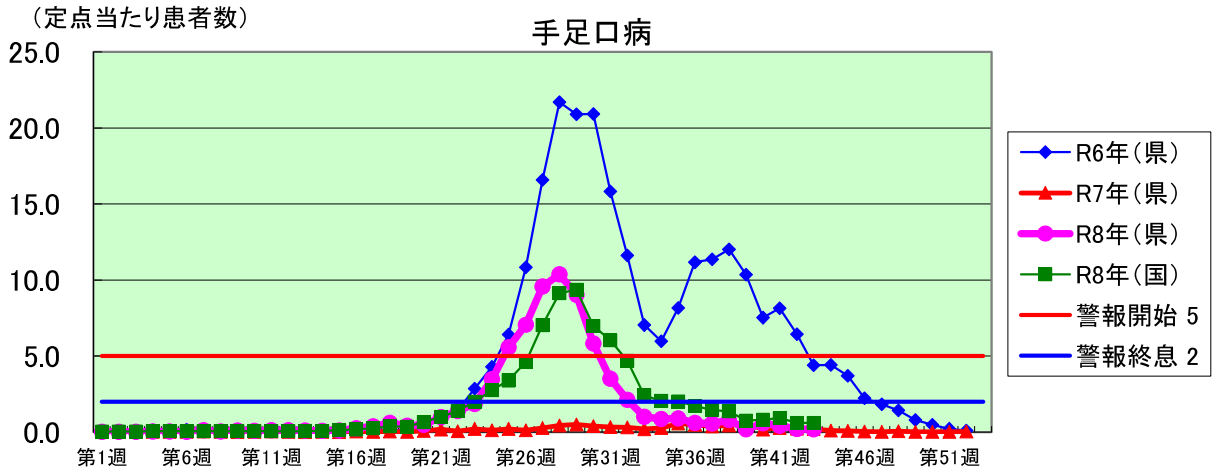
（定点当たり患者数）

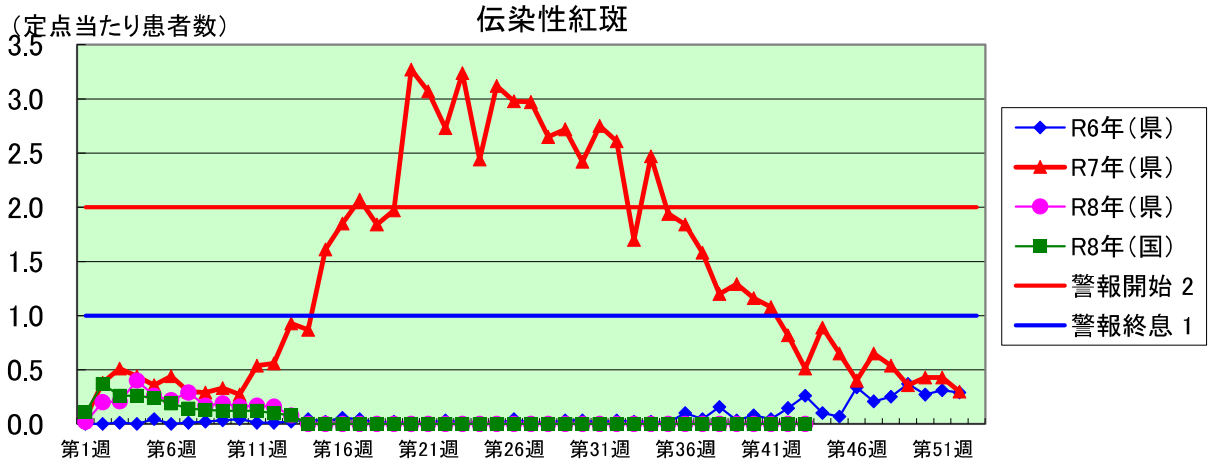
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

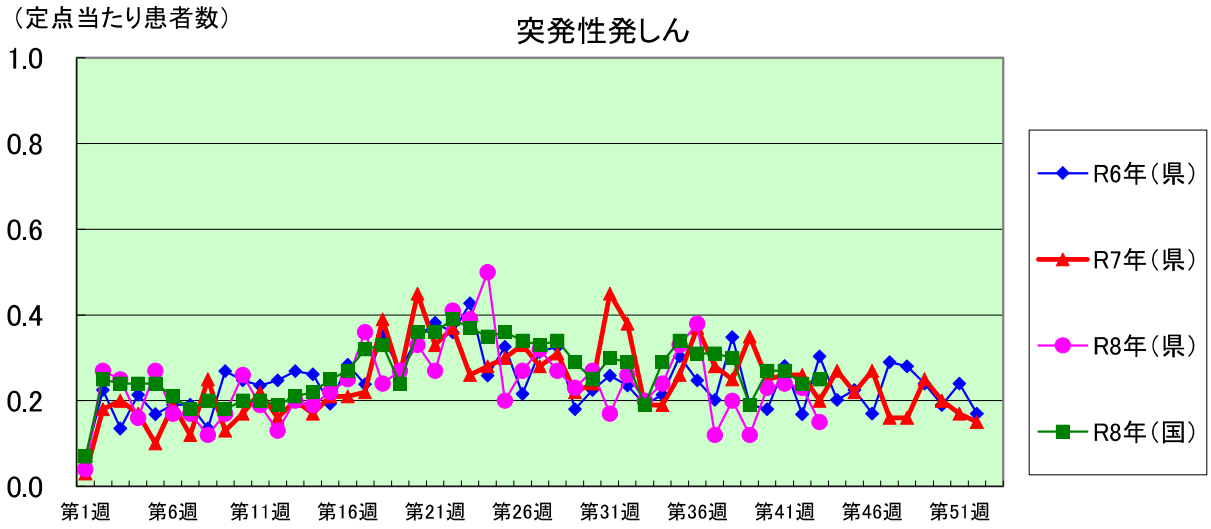


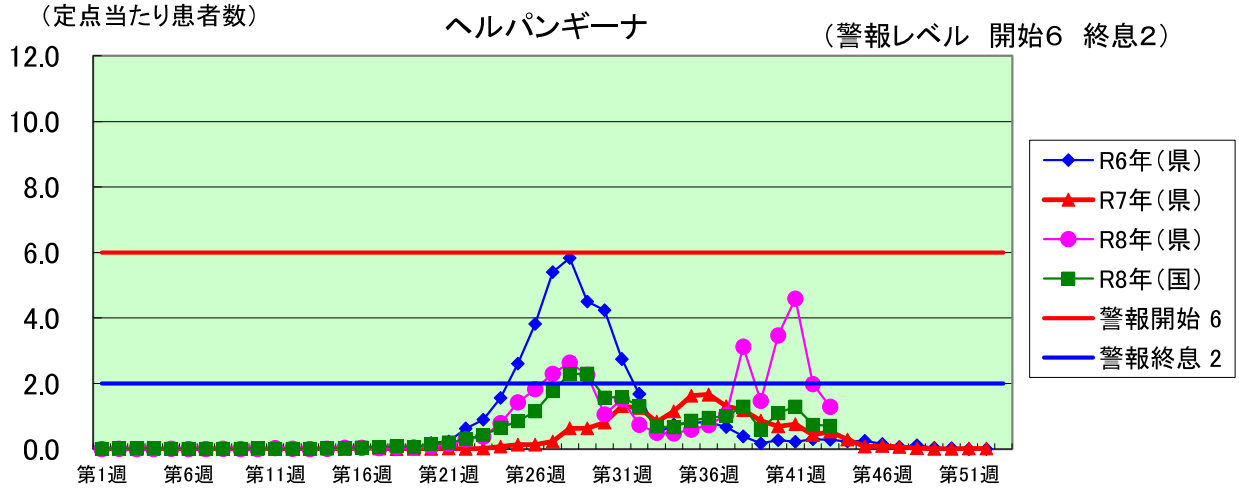

（定点当たり患者数）
感染性胃腸炎
12.0
9.0
6.0
3.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 20
警報終息 12


（定点当たり患者数）
水痘
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 2
警報終息 1
注意報
開始 1


（定点当たり患者数）
手足口病
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 5
警報終息 2

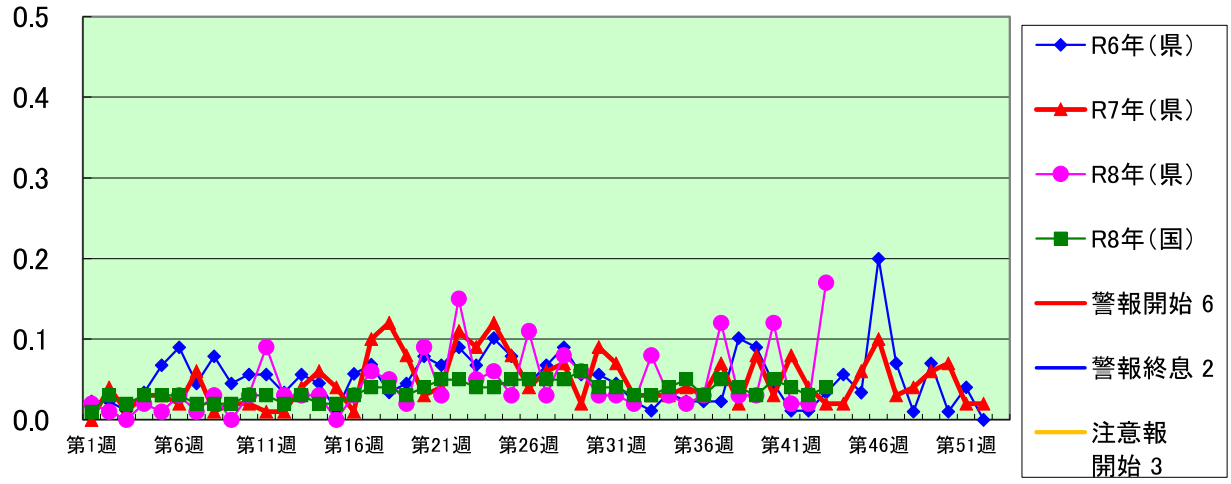

伝染性紅斑
（定点当たり患者数）
3.5
3.0
2.5
2.0
1.5
1.0
0.5
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 2
警報終息 1


（定点当たり患者数）
突発性発しん
1.0
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）


（定点当たり患者数）
ヘルパンギーナ
（警報レベル　開始6　終息2）
12.0
10.0
8.0
6.0
4.0
2.0
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 6
警報終息 2

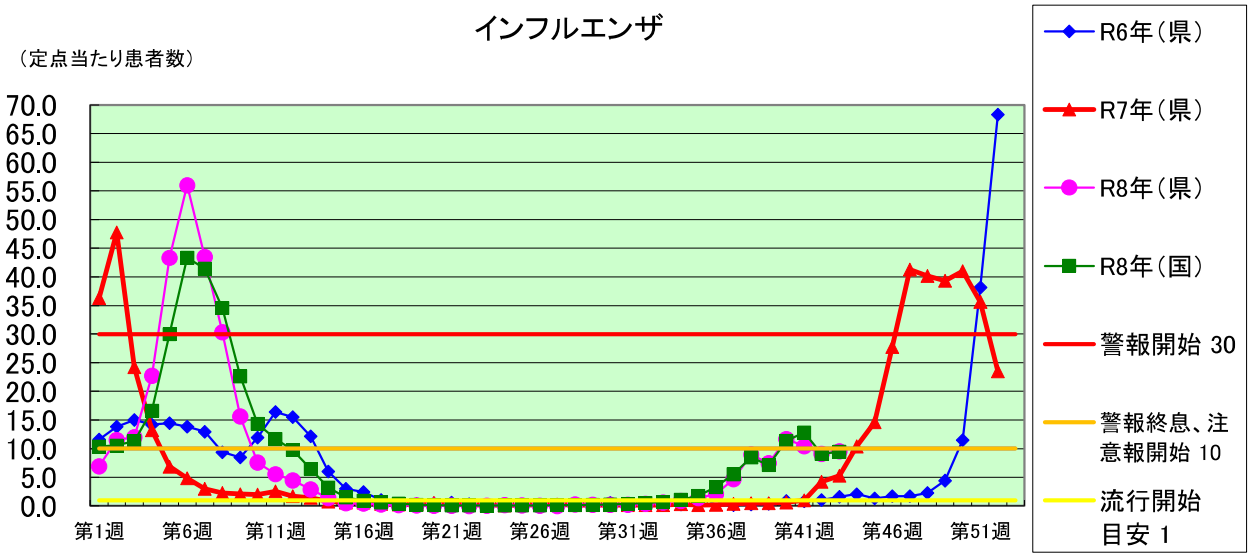
流行性耳下腺炎

（定点当たり患者数）



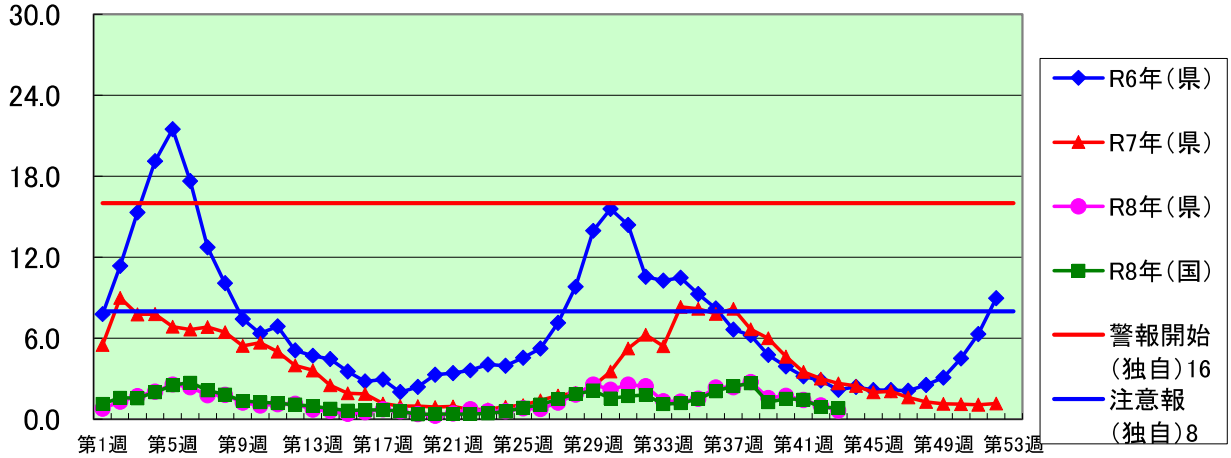
インフルエンザ

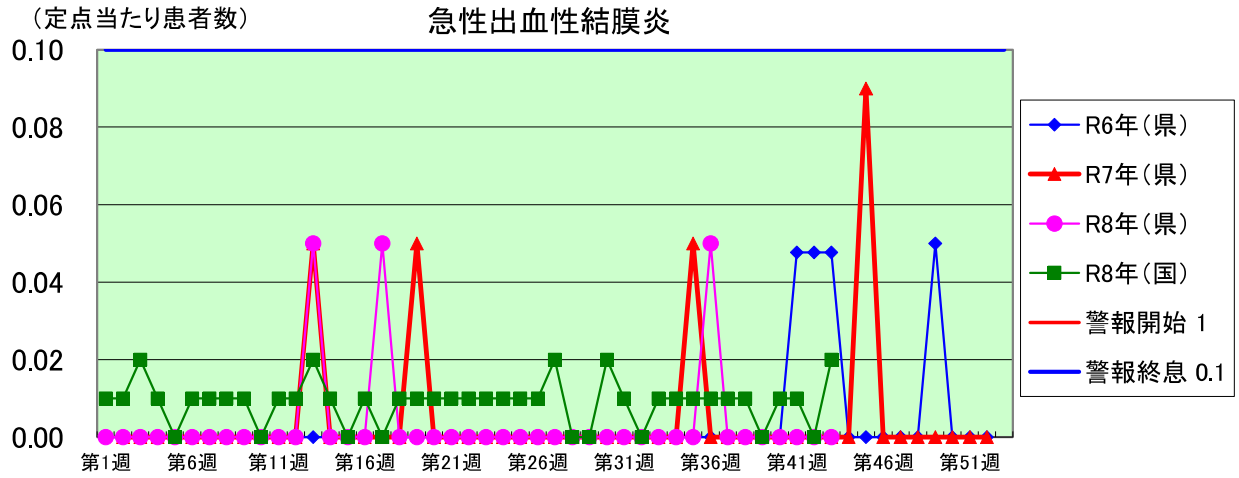
（定点当たり患者数）

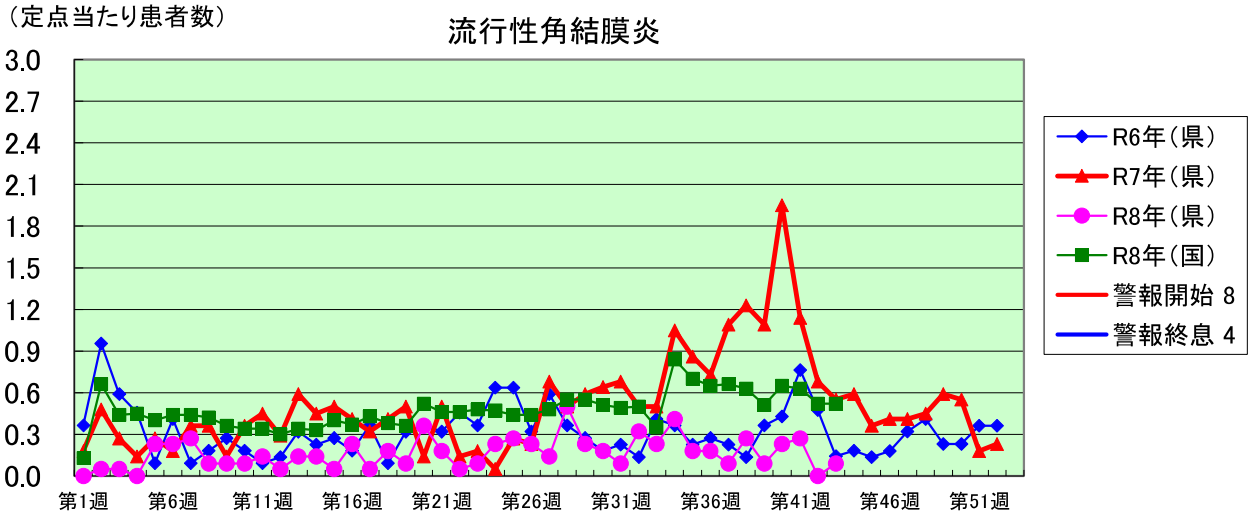


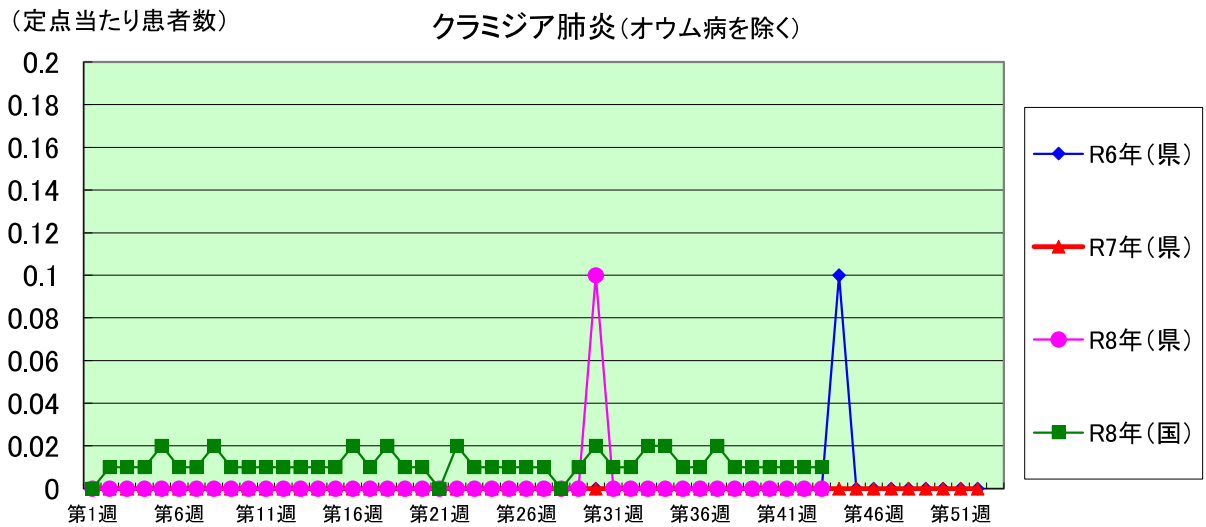
新型コロナウイルス感染症

（定点当たり患者数）

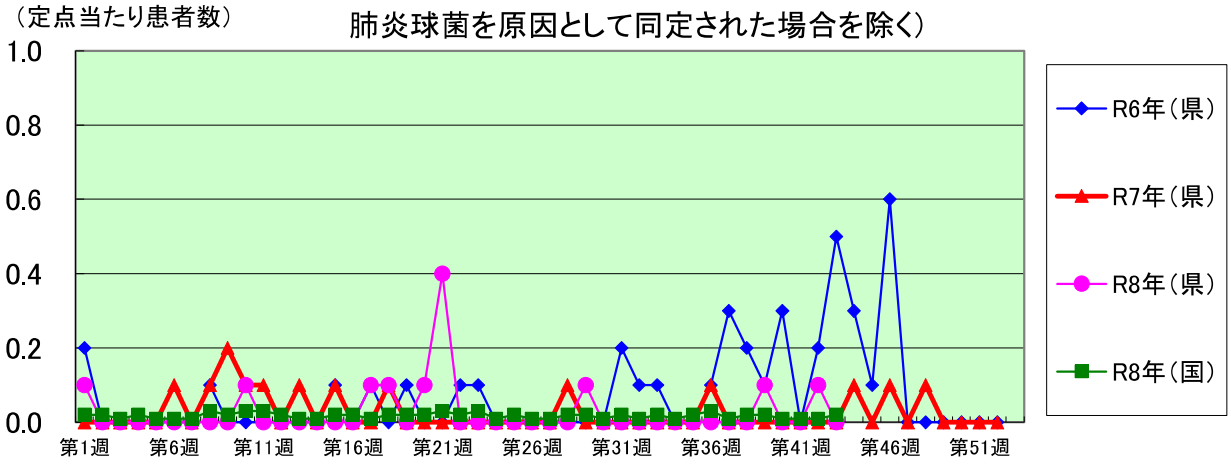



（定点当たり患者数）
急性出血性結膜炎
0.10
0.08
0.06
0.04
0.02
0.00
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 1
警報終息 0.1

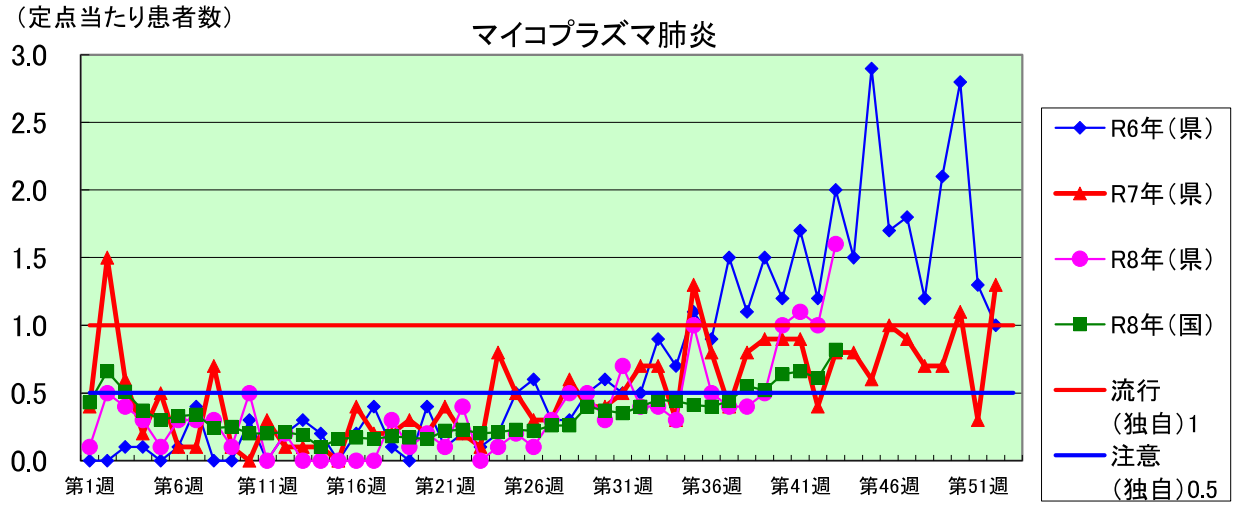

（定点当たり患者数）
流行性角結膜炎
3.0
2.7
2.4
2.1
1.8
1.5
1.2
0.9
0.6
0.3
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）
警報開始 8
警報終息 4


（定点当たり患者数）
クラミジア肺炎（オウム病を除く）
0.2
0.18
0.16
0.14
0.12
0.1
0.08
0.06
0.04
0.02
0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）

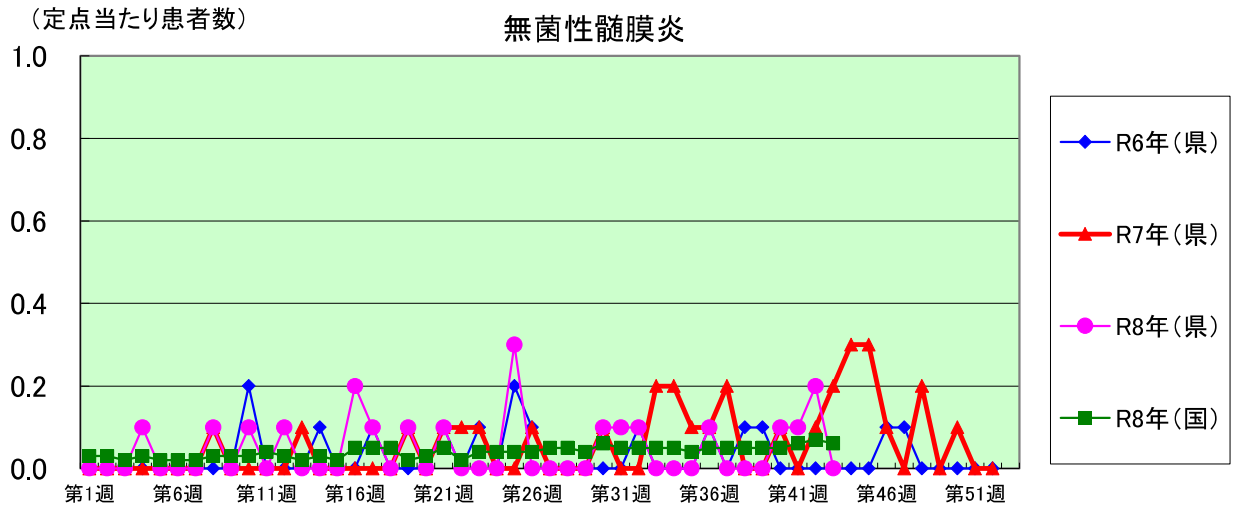
細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、
肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）

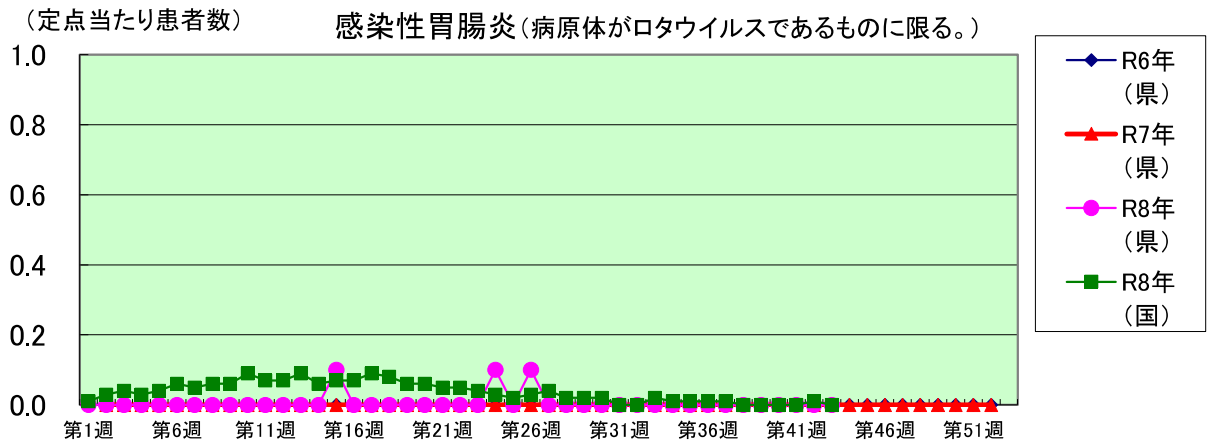


マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎




（定点当たり患者数）
感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）
1.0
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
第1週
第6週
第11週
第16週
第21週
第26週
第31週
第36週
第41週
第46週
第51週
R6年（県）
R7年（県）
R8年（県）
R8年（国）

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2026年　9　月

	静岡県							全国				
	4月	5月	6月	7月	8月	今月	計	6月	7月	8月	今月	計
性器クラミジア感染症	32	43	44	36	51	34	240	2344	2358	2132	2281	9115
性器ヘルペスウイルス感染症	22	16	11	18	18	15	100	1016	1024	891	937	3868
尖圭コンジローマ	8	7	7	12	5	10	49	540	537	484	486	2047
淋菌感染症	11	7	10	10	12	8	58	607	655	602	610	2474
性器クラミジア感染症（男）	16	15	18	15	17	17	98	1160	1167	1063	1153	4543
性器クラミジア感染症（女）	16	28	26	21	34	17	142	1184	1191	1069	1128	4572
性器ヘルペスウイルス感染症（男）	7	4	5	9	5	4	34	374	378	308	343	1403
性器ヘルペスウイルス感染症（女）	15	12	6	9	13	11	66	642	646	583	594	2465
尖圭コンジローマ（男）	2	6	5	6	3	4	26	402	383	349	349	1483
尖圭コンジローマ（女）	6	1	2	6	2	6	23	138	154	135	137	564
淋菌感染症（男）	9	4	7	6	8	5	39	451	477	437	459	1824
淋菌感染症（女）	2	3	3	4	4	3	19	156	178	165	151	650
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	23	19	21	19	31	21	134	1267	1271	1238	1297	5073
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	34	39	28	17	118
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	−	−	−	−	−	−	−	−	−	0

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2026年　9　月

	静岡県						全国			
	4月	5月	6月	7月	8月	今月	6月	7月	8月	今月
性器クラミジア感染症	1.07	1.43	1.47	1.20	1.70	1.13	2.42	2.42	2.23	2.34
性器ヘルペスウイルス感染症	0.73	0.53	0.37	0.60	0.60	0.50	1.05	1.05	0.93	0.96
尖圭コンジローマ	0.27	0.23	0.23	0.40	0.17	0.33	0.56	0.55	0.51	0.50
淋菌感染症	0.37	0.23	0.33	0.33	0.40	0.27	0.63	0.67	0.63	0.63
性器クラミジア感染症（男）	0.53	0.50	0.60	0.50	0.57	0.57	1.20	1.20	1.11	1.18
性器クラミジア感染症（女）	0.53	0.93	0.87	0.70	1.13	0.57	1.22	1.22	1.12	1.16
性器ヘルペスウイルス感染症（男）	0.23	0.13	0.17	0.30	0.17	0.13	0.39	0.39	0.32	0.35
性器ヘルペスウイルス感染症（女）	0.50	0.40	0.20	0.30	0.43	0.37	0.66	0.66	0.61	0.61
尖圭コンジローマ（男）	0.07	0.20	0.17	0.20	0.10	0.13	0.41	0.39	0.37	0.36
尖圭コンジローマ（女）	0.20	0.03	0.07	0.20	0.07	0.20	0.14	0.16	0.14	0.14
淋菌感染症（男）	0.30	0.13	0.23	0.20	0.27	0.17	0.46	0.49	0.46	0.47
淋菌感染症（女）	0.07	0.10	0.10	0.13	0.13	0.10	0.16	0.18	0.17	0.15
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.30	1.90	2.10	1.90	3.10	2.10	2.64	2.66	2.62	2.70
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	－	－	－	－	0.07	0.08	0.06	0.04
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	－	－	－	－	－	－	－	－

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

定点把握感染症(月報)保健所別集計表

2026年　　9　　月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	34	1.13	15	0.50	10	0.33	8	0.27
賀茂	…	…	…	…	…	…	…	…
熱海	1	1	1	1	1	1	－	－
東部	2	0.4	1	0.2	1	0.2	－	－
御殿場	1	1	2	2	－	－	－	－
富士	3	1	3	1	2	0.67	－	－
静岡市	16	2.67	4	0.67	4	0.67	4	0.67
中部	4	1	－	－	－	－	4	1
西部	3	0.6	－	－	－	－	－	－
浜松市	4	0.8	4	0.8	2	0.4	－	－

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	21	2.10	0	－	－	－
賀茂	2	2.00	－	－	0	0.00
熱海	－	－	－	－	0	0.00
東部	1	1.00	－	－	0	0.00
御殿場	…	…	…	…	0	0.00
富士	4	4.00	－	－	0	0.00
静岡市	10	5.00	－	－	0	0.00
中部	1	1.00	－	－	0	0.00
西部	3	3.00	－	－	0	0.00
浜松市	－	－	－	－	0	0.00

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

＊薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。
＊薬剤耐性緑膿菌感染症は、令和8年4月6日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

9 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					3	10	9	5	3	3			1				34
性器ヘルペスウイルス感染症						3	4	1	4			1			1	1	15
尖圭コンジローマ						1	2	1	1		1	1	1	2			10
淋菌感染症					1	1	2	1		2			1				8
性器クラミジア感染症(男)					1	3	7	1	3	2							17
性器クラミジア感染症(女)					2	7	2	4		1			1				17
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						1			2							1	4
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						2	4	1	2			1			1		11
尖圭コンジローマ(男)								1					1	2			4
尖圭コンジローマ(女)						1	2		1		1	1					6
淋菌感染症(男)					1	1	2			1							5
淋菌感染症(女)								1		1			1				3
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			1							1	2		1	2	1	13	21
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

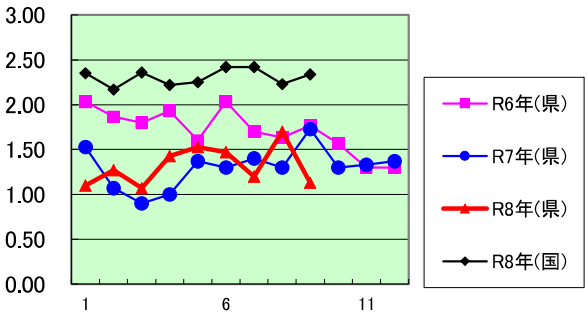
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

9 月

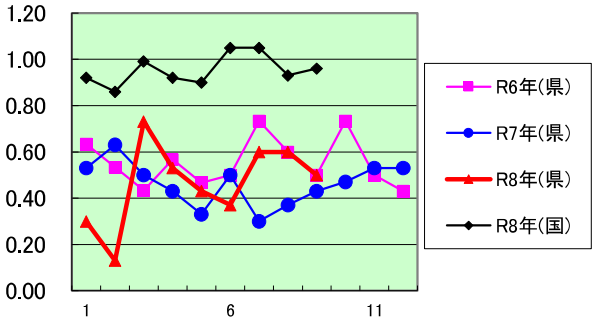
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.10	0.33	0.30	0.17	0.10	0.10			0.03				1.13
性器ヘルペスウイルス感染症						0.10	0.13	0.03	0.13			0.03			0.03	0.03	0.50
尖圭コンジローマ						0.03	0.07	0.03	0.03		0.03	0.03	0.03	0.07			0.33
淋菌感染症					0.03	0.03	0.07	0.03		0.07			0.03				0.27
性器クラミジア感染症(男)					0.03	0.10	0.23	0.03	0.10	0.07							0.57
性器クラミジア感染症(女)					0.07	0.23	0.07	0.13		0.03			0.03				0.57
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						0.03			0.07							0.03	0.13
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						0.07	0.13	0.03	0.07			0.03			0.03		0.37
尖圭コンジローマ(男)								0.03					0.03	0.07			0.13
尖圭コンジローマ(女)						0.03	0.07		0.03		0.03	0.03					0.20
淋菌感染症(男)					0.03	0.03	0.07			0.03							0.17
淋菌感染症(女)								0.03		0.03			0.03				0.10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			0.10							0.10	0.20		0.10	0.20	0.10	1.30	2.10
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)推移グラフ

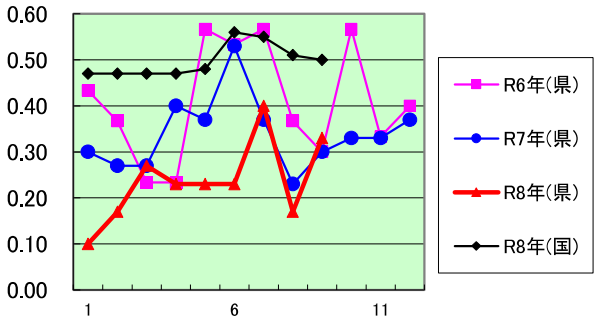
性器クラミジア感染症



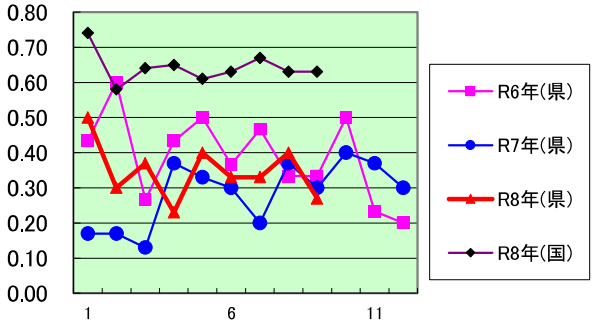
性器ヘルペスウイルス感染症



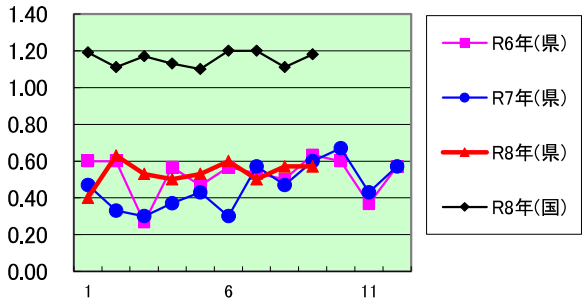
尖圭コンジローマ



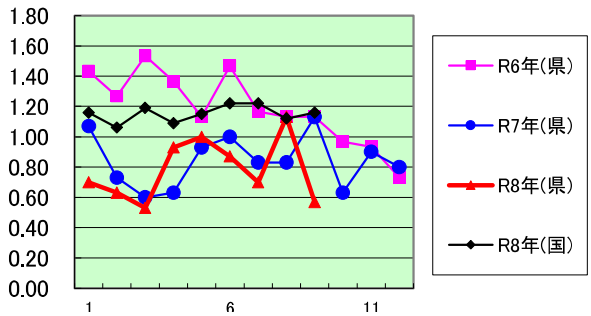
淋菌感染症



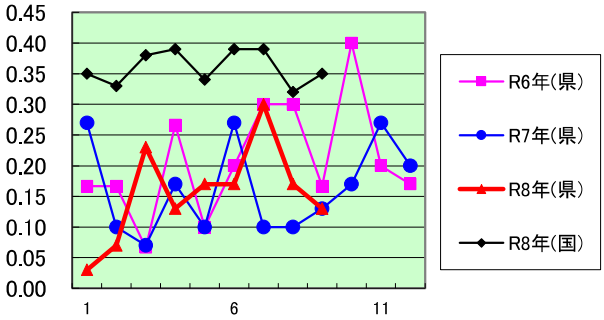
性器クラミジア感染症(男)



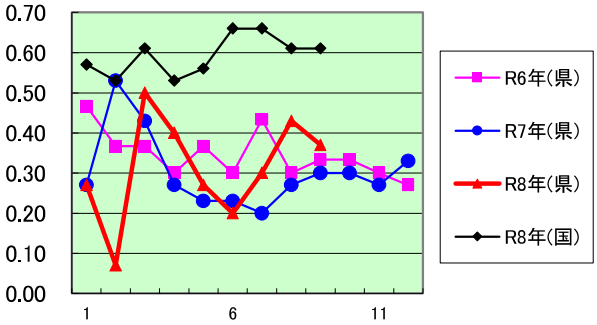
性器クラミジア感染症(女)



性器ヘルペスウイルス感染症(男)

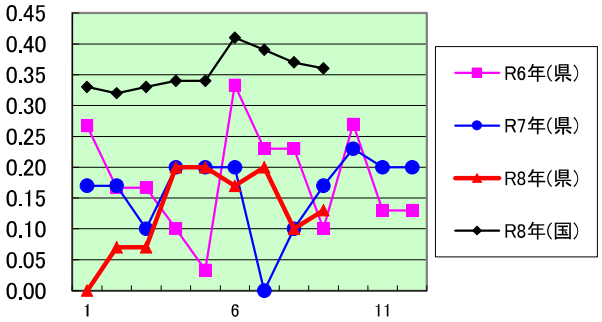


性器ヘルペスウイルス感染症(女)

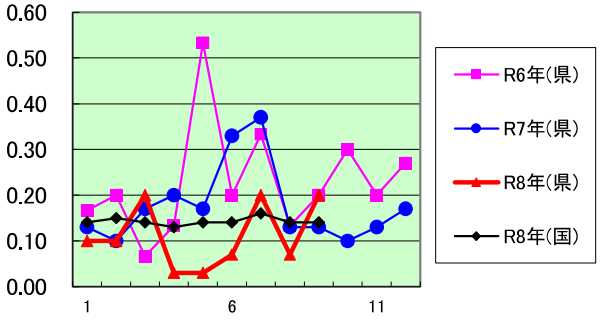


定点把握感染症(月報)推移グラフ

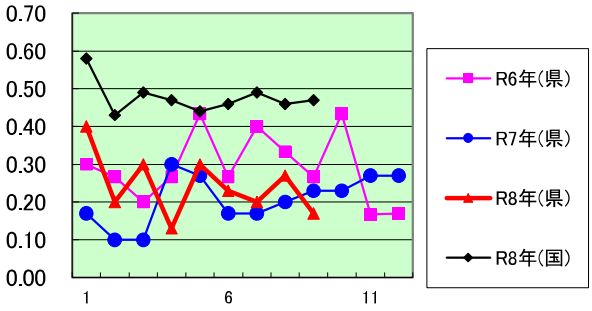
尖圭コンジローマ(男)



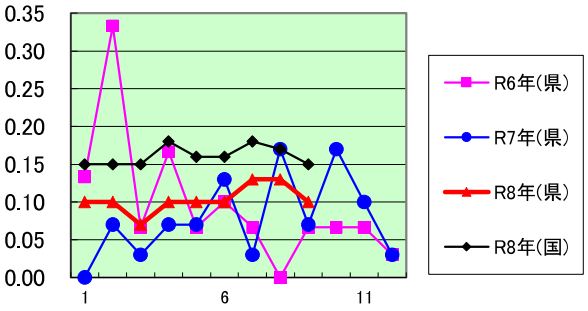
尖圭コンジローマ(女)



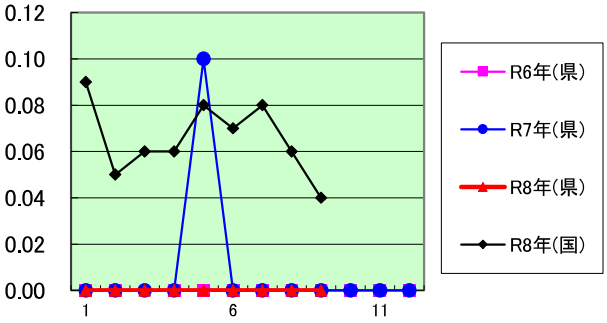
淋菌感染症(男)



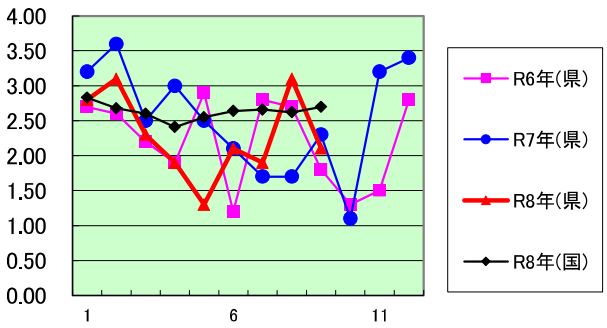
淋菌感染症(女)



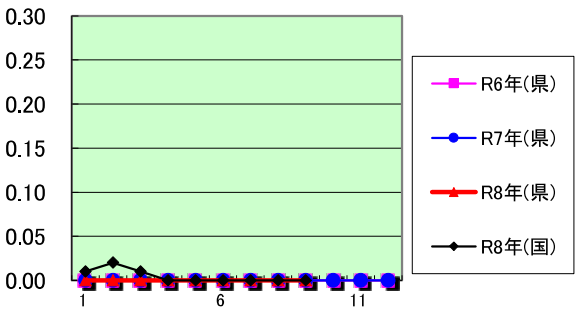
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2026年　　第43週　　10/19　～ 10/25

保:保育園　幼:幼稚園　小:小学校　中:中学校　高:高等学校
特支:特別支援学校　こ:こども園　高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週合計	前週	今シーズン合計
下田市	学校・園の数										0	1
	学校・園の患者数合計										0	9
東伊豆町	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	13
河津町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
南伊豆町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
松崎町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
西伊豆町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
熱海市	学校・園の数										0	1
	学校・園の患者数合計										0	7
伊東市	学校・園の数			1						1	0	3
	学校・園の患者数合計			21						21	0	45
沼津市	学校・園の数			3		1				4	1	18
	学校・園の患者数合計			29		12				41	11	249
三島市	学校・園の数			3						3	0	7
	学校・園の患者数合計			39						39	0	96
裾野市	学校・園の数										0	8
	学校・園の患者数合計										0	75
伊豆市	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
伊豆の国市	学校・園の数			1						1	0	3
	学校・園の患者数合計			9						9	0	58
函南町	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	18
清水町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
長泉町	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	24
御殿場市	学校・園の数										1	6
	学校・園の患者数合計										7	68
小山町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
富士市	学校・園の数				1					1	1	13
	学校・園の患者数合計				13					13	14	250
富士宮市	学校・園の数			1						1	1	3
	学校・園の患者数合計			8						8	9	25
静岡市清水区	学校・園の数			3						3	2	16
	学校・園の患者数合計			46						46	15	177
静岡市葵区	学校・園の数			2		2	1			5	4	25
	学校・園の患者数合計			20		20	9			49	48	312
静岡市駿河区	学校・園の数			2	2					4	0	11
	学校・園の患者数合計			14	30					44	0	138

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2026年　　第43週　　10/19　～ 10/25

保:保育園　幼:幼稚園　小:小学校　中:中学校　高:高等学校
特支:特別支援学校　こ:こども園　高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週合計	前週	今シーズン合計
島田市	学校・園の数										1	4
	学校・園の患者数合計										7	48
焼津市	学校・園の数				3					3	1	11
	学校・園の患者数合計				27					27	10	111
藤枝市	学校・園の数			1						1	0	13
	学校・園の患者数合計			5						5	0	128
牧之原市	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	19
吉田町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
川根本町	学校・園の数										0	1
	学校・園の患者数合計										0	6
磐田市	学校・園の数			3	2					5	3	10
	学校・園の患者数合計			49	83					132	35	183
掛川市	学校・園の数					1				1	0	1
	学校・園の患者数合計					15				15	0	15
袋井市	学校・園の数		1			1				2	3	10
	学校・園の患者数合計		5			45				50	26	143
湖西市	学校・園の数				1					1	0	3
	学校・園の患者数合計				77					77	0	85
御前崎市	学校・園の数			1						1	0	1
	学校・園の患者数合計			8						8	0	8
菊川市	学校・園の数			2						2	0	4
	学校・園の患者数合計			16						16	0	44
森町	学校・園の数										0	0
	学校・園の患者数合計										0	0
浜松市中央区	学校・園の数		3	8	6	2				19	6	51
	学校・園の患者数合計		23	100	104	41				268	66	642
浜松市浜名区	学校・園の数			1		1				2	2	15
	学校・園の患者数合計			12		22				34	21	197
浜松市天竜区	学校・園の数			1						1	1	2
	学校・園の患者数合計			5						5	5	10
県内合計	学校・園の数		4	33	15	8	1			61	27	249
	学校・園の患者数合計		28	381	334	155	9			907	274	3,203
2026-2027シーズン施設別合計	学校・園の数	1	11	136	70	25	5	1				
	学校・園の患者数合計	15	83	1,474	1,218	340	53	20				

・引き続き、咳エチケット※、手洗い、換気等、基本的な感染対策をお願い致します。
(※　咳をするときに服のそでやハンカチで口鼻をおおう、マスクの適切な着用が可能なら咳の出るときはマスクを着ける)
・第36週から新シーズンとして集計しています。

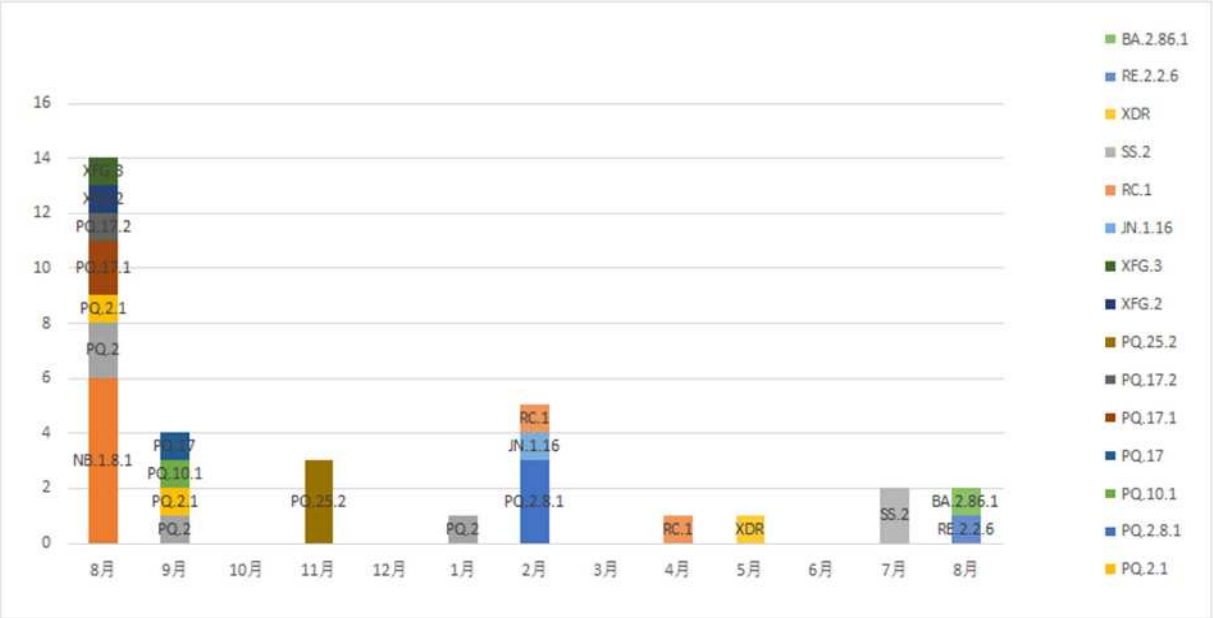
新型コロナ変異株ゲノム解析結果について（月１回更新）

＜変異株の件数＞９月 21 日（月）～10 月 25 日（日）判明分

検体採取日	系統名
2026/7/30	SS.2
2026/8/4	BA.2.86.1
2026/8/13	RE.2.2.6

ゲノム解析結果の系統別判明（検体採取日集計）

系統名	2025					2026							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
解析不能													
NB.1.8.1	6												
PQ.2	2	1				1							
PQ.2.1	1	1											
PQ.2.8.1							3						
PQ.10.1		1											
PQ.17		1											
PQ.17.1	2												
PQ.17.2	1												
PQ.25.2				3									
XFG.2	1												
XFG.3	1												
JN.1.16							1						
RC.1							1		1				
SS.2												2	
XDR										1			
RE.2.2.6													1
BA.2.86.1													1
合計	14	4	0	3	0	1	5	0	1	1	0	2	2



（県内政令市実施分を含む）

静岡県感染症対策課　055-928-7220